平成２６年度

教育委員会点検・評価報告書

平成２７年１１月

登別市教育委員会

目　　次

Ⅰ 教育委員会の点検・評価について・・・・・・・・・・・・・ ２

Ⅱ 評価の手法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２

１ 点検・評価の対象
２ 実施の流れ

Ⅲ 評価結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３

１ 教育委員会の活動状況の概要報告・・・・・・・・・・・・・ ３
２ 重点施策の評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８
３ 重点施策の評定結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４３

Ⅳ 点検・評価に関する学識経験者の意見等・・・・・・・・ ４４

Ⅴ 評価のまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４８

Ⅵ 参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４８
１　平成２６年度教育行政執行方針
２　教育に関する具体的な計画とその点検・評価の流れ
３　平成２６年度　各種基本計画の進捗状況
・ 学校教育基本計画
・ 第４次社会教育中期計画
・ 文化振興基本計画
・ スポーツ振興基本計画

Ⅰ 教育委員会の点検・評価について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という。）の改定により、毎年教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会提出とともに公表することとされ、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関する学識経験を有する方の知見の活用を図ることとされました。

登別市教育委員会では、効率的な教育行政の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たしていくため、地教行法に基づき、平成２６年度の教育委員会の活動状況の報告と基本方針及び重点項目の主な施策（１９項目）について点検・評価を行い、教育に関する学識経験を有する方々の意見を付して「教育委員会点検・評価報告書」としてまとめました。

本報告書を公表することにより、市民の皆様に教育に関する事務の管理及び評価の状況について説明するとともに、今後の施策・事業の展開に活用し、より一層効果的な教育行政の推進を図ってまいります。

Ⅱ 評価の手法

１ 点検・評価の対象

登別市教育委員会の点検・評価は、教育委員会の活動状況の他、平成２６年度の教育行政執行方針に位置づけられた施策・事業を点検・評価の対象として実施しました。

２ 実施の流れ

⑴ 教育委員会の活動状況の概要報告

教育委員会の１年間の様々な活動について

⑵ 平成２６年度の重点施策の管理及び執行状況の評価

・教育行政執行方針に位置づけられている重点施策を評価しました。

点 検 内 容	当該年度の教育行政執行方針の重点内容
取 組 状 況	当該年度内に実施した取組の概要
評　　価	取組の実施状況に対する評価
今後の方向性	今後の取組を進める上での課題や対応の方向

⑶ 教育行政執行方針における重点施策の評定結果

・４段階（Ａ～Ｄ）で、評価を実施しました。

Ａ：達成しているもの
Ｂ：おおむね達成しているもの
Ｃ：達成見込みであるが一部課題があるもの
Ｄ：達成に向け困難な課題があるもの

⑷ 点検・評価に関する学識経験者の意見等

・点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する外部の方からの意見、助言をいただきました。

学識経験者

氏　　名	所　　属　　等
石 井　　憲 一	元日本工学院北海道専門学校　参与
小 塚　　順 一	登別市退職校長会　会長

Ⅲ 評価結果

１ 教育委員会の活動状況の概要報告

(1) 教育委員会の活動状況

教育委員会については、毎月１回下旬に定例会議を開催しました。必要に応じて開催する臨時会議は、２６年度は行いませんでした。

会議においては、登別市教育委員会教育長に対する事務委任規則に従って、教育長委任事務以外の事務における議案の提案理由や説明が行われた後、各委員からの質問・意見などの審議を経て、いずれも可決、了承されました。また、事務局からの情報提供や各種課題、事業の進捗状況、その他事項の報告について、委員と事務局との間で意見交換を行いました。

(2) 平成２６年度　登別市教育委員会「定例会議」の概要

第１回 会議	4/30 16:30	報告第1号　教職員の懲戒処分内申の結果について 議案第1号　登別市学校給食センター調理員要綱の一部改正について 議案第2号　登別市学校給食費口座振替手数料交付金交付要綱の一部改正について 議案第3号　登別市立学校運営協議会設置要綱の一部改正について 情報提供　1 平成26年度登別市組織機構図(教育委員会) 2 平成26年度教育委員会事務局職員名簿 3 平成26年度登別市小中学校の児童･生徒数・学級数調書 4 平成26年度登別市立学校主要行事予定表について 5 平成26年度登別市小中学校｢校長会｣･｢教頭会｣三役等 6 家族の時間づくりプロジェクト事業について 7 平成26年度春の叙勲の受賞者について 8 土曜授業の実施計画について 9 第39回のぼりべつこいのぼりマラソンについて 10 学校体育施設開放事業自主管理について 11 図書館要覧(平成25年度)について 意見交換から(委員の意見・感想) ・学校運営協議会の任期は、３年で良いと考える。 ・先生方の勤務の関係もあるので、土曜授業は多くても月１回が妥当。地域の方が先生となる土曜学習の根を広げていきたい。 ・家族の時間づくりプロジェクトに対して賛同する方を徐々に増やしていくことが大切。
第２回 会議	5/26 16:30	議案第4号　登別市学校適正配置基本方針について 議案第5号　登別市スポーツ推進委員の委嘱について 議案第6号　登別市社会教育委員の委嘱について 議案第7号　登別市学校給食費口座振替請求WEBサービス利用手数料交付金要綱の制定について 議案第8号　登別市立図書館協議会委員の任命について 情報提供　1 平成26年度児童数、学級数調書(小学校) 2 平成26年度生徒数、学級数調書(中学校) 意見交換から(委員の意見・感想)

		・適正配置基本方針を立てることで見通しがもてるので大事なことだと思う。 ・給食費請求に関しては一層の利便性と業務のスリム化を図ることで承認。
第３回 会議	6/27 16:30	**報告第2号　平成26年第2回市議会定例会一般質問について** **議案第9号　平成26年度教科用図書第10採択地区調査委員の委嘱について** **議案第10号 平成25年度教育行政事務の管理執行状況の点検･評価に係る学識経験者の活用及び選任について** **情報提供　1 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律案の概要について** **2 平成27年度の施策に対する北海道への要望について** **3 北海道教育委員会からの資料について** **4 平成26年度登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流事業について** **5 平成26年度「家族の時間づくりプロジェクト」の実施について** **6 電動階段昇降車の設置について** **7 第64回社会を明るくする運動メッセージ伝達式の参加について** **8 平成26年度保存版　文化･スポーツ情報in登別について** **9 教育委員会広報「教育のぼりべつ」の発行について** **10 全国学力・学習状況調査の公表方法について** 意見交換から(委員の意見・感想) ・教育委員会の活動に対し詳細に点検がなされ、次につなげていくのはとても良い手法だと考える。 ・教育委員会が率先して教員の事務業務をスリム化するよう進めてほしい。 ・デンマークへの派遣交流事業は、子どもたちの見聞が広がる貴重な機会だ。 ・全国学力･学習状況調査の目的はあくまでも指導方法の改善にあるため、公表は従来のままで良い。
第４回 会議	7/23 17:00	**情報提供　1 土曜授業の取組について** **2 学力向上対策について** **3 道道改良に伴う青葉小学校の通学路について** **4 登別市立図書館アーニス分館の開館について** **5 図書館まつりについて** **6 夏休みの子どもの安全確保について** **7 学校図書の寄贈について** 意見交換から(委員の意見・感想) ・授業時数の中で組み込めない内容を土曜授業で取り組めていていい。 ・中学校区地域協議会と地域本部事業が両輪となり、子どもたちの学習環境の充実を図っていることがよくわかった。 ・今の時代は不審者に対する指導の難しさがあることがわかった。
第５回 会議	8/25 16:30	**議案第11号　平成25年度教育行政事務の管理執行状況の点検･評価報告について** **議案第12号　登別市児童生徒スポーツ振興助成金交付要綱の全部改正について** **議案第13号　登別市児童、生徒文化振興助成金交付要綱の全部改正について** **情報提供　1 アーニス分館の開館後の利用状況と蔵書統計について** **2 平成26年度北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会への出席について** 意見交換から(委員の意見・感想) ・不登校といじめ対策をひとつにくくることが誤解を生じる場合もある。 ・千葉委員、9月30日で退任。（報告）

第６回 会議	9/25 16:30	報告第3号　市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理の報告について 報告第4号　平成26年第3回登別市議会定例会一般質問について 報告第5号　平成26年度教科用図書第10採択地区教育委員会協議会採択結果について 報告第6号　平成26年度全国学力・学習状況調査登別市の結果と分析について 議案第14号　平成26年度全国学力･学習状況調査「北海道版結果報告書」への掲載の同意について 情報提供　1 平成25年度教育行政事務の管理執行状況の点検･評価報告について 2 郷土資料館特別展「仙台藩士片倉家の北海道移住」について 3 「市民スポーツ･健康フェスティバル」について 意見交換から(委員の意見・感想) ・市としてどのような取組をしてきてその結果がこうだというものに結びつけるための公表だと考えるので、学習の領域別の市町村ごとのレーダーチャートを基本とした公表でよい。今まで通り教職員の方々が現状をとらえて指導方法の改善に取り組んでほしい。
第７回 会議	10/9 16:30	議事日程第1　登別市教育委員会委員長の選挙について 議事日程第2　登別市教育委員会委員長職務代理者の指定について 報告第7号　平成26年度全国学力･学習状況調査クロス集計（学力と学習状況）について 情報提供　1 平成26年度登別市内「学芸会･公開研究会」の案内について 2 平成26年度教育ふれあいウィークについて 3 「生涯教育の歩み」について 4 教育委員会広報「教育のぼりべつ」の発行について 意見交換から(委員の意見・感想) ・読書と学力の関係性は納得ができる。家庭でのコミュニケーションの豊富さと学力との関係性は再認識させられた。 ・教育ふれあいウィークでは、できるだけ委員も学校を訪問し子どもたちの様子を拝見させてもらう。
第８回 会議	11/27 16:30	報告第8号　平成26年度登別市功労者表彰及び登別市表彰の被表彰者について 議案第15号 登別市就学指導委員会規則の一部改正について 議案第16号 登別市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について 情報提供　1 平成26年度教育ふれあいウィーク実施状況について 意見交換から(委員の意見・感想) ・教育ふれあいウィークにあわせた土曜授業の公開では1500名を超える参観者が来校し成功に終わりよかった。普段なかなか子どもの教育に関わることの少ない父親が多数参観したことも本当によいことだと思う。
第９回 会議	12/25 16:30	報告第9号　市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理の報告について 報告第10号 平成26年第4回登別市議会定例会一般質問について 報告第11号 平成27年度登別市教育行政執行方針について 議案第17号 登別市立学校学校医等表彰について 議案第18号 平成26年度全国体力･運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への掲載の同意について 情報提供　1 平成26年度全国体力･運動能力、運動習慣等調査ついて 2 平成27年登別市成人祭について 3 三市合同女性国内派遣事業について 4 教育委員会広報「教育のぼりべつ」の発行について

		意見交換から(委員の意見・感想) ・安全に遊ぶ環境を大人が意識して作り上げることが大切。 ・体力向上に向けて専門的な講習を受けて取り組むことは重要。 ・三市合同女性国内派遣事業において、参加者の選考に難航するが、リーダーの育成は急務と考えるため、人材発掘に一層努力してほしい。
第１０回 会議	1/22 16:30	議案第19号　平成27年度登別市教育行政執行方針について 情報提供　1 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴う条例の制定等について 2 平成27年度明日中等教育学校の合格状況について 3 平成27年登別市成人祭について 4 第5回のぼりべつし学校給食展について 5 平成26年度図書館要覧について 6 平成26年度登別の教育について 7 平成26年度卒業式出席者の日程調整について 8 管内教育委員会委員研修会について 意見交換から(委員の意見・感想) ・子どもたちが自分の地域を好きになる、将来この地域に住みたいと思う教育は大切だと感じる。社会で役立つ人間の育成に向かうキャリア教育を重視し、学校教育を展開してほしい。 ・アレルギー疾患用学校生活管理指導票を導入し、親や必要に応じて医師に記入してもらうことは、どこで発症しても正しく対応できるので重要と考える。 ・成人式のとき誓いの言葉を言う方の顔が会場の方に見える工夫をしてほしい。
第１１回 会議	2/19 16:30	報告第12号 市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理の報告について 議案第20号 市民マイプラン講座実施要綱の全部改正について 情報提供　1 平成27年度登別市教育行政執行方針について 2 平成26年度卒業式出席者の日程調整について 意見交換から(委員の意見・感想) ・通学合宿は翌日の学校の授業に影響を及ぼす場面もしばしば見られるが、それにもまして４日間で子どもの生活習慣が変化していくことの大きな意義を感じるので、これからも続けていくべき。
第１２回 会議	3/26 16:00	報告第13号 教職員人事の内申に係る臨時代理の報告について 報告第14号 市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理の報告について 報告第15号 平成27年第1回登別市議会定例会一般質問について 報告第16号 教育委員会事務局職員の人事異動発令に係る臨時代理の報告について 議案第21号 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係規則の整備に関する規則の制定について 議案第22号 登別市ネイチャーセンター条例施行規則の一部改正について 議案第23号 登別市文化財審議会委員の委嘱について 議案第24号 登別市立図書館条例施行規則の一部改正について 議案第25号 登別市立図書館複写業務要綱の一部改正について 情報提供　1 平成26年度登別版コミュニティスクールの実施状況について 2 郷土資料館特別展「はじめまして！－平成26年度新資料－」開催について 3 第40回こいのぼりマラソンについて 4 平成27年度市内小中学校入学式について

		意見交換から(委員の意見・感想) ・ポスター等で図書館の活動に係わる情報提供もなされ、アーニス分館の利用者数の増加していることはとても良いことだと思う。 ・コミュニティスクールや土曜授業をいち早く導入した一年で、次年度以降、その成果が大いに期待できることと考える。

(3) 調査活動の実施状況

教育委員による小中学校の教育活動の視察や研修活動の概要

① 土曜授業の視察

7/19 緑陽中学校 10:00～ 垣内委員長出席
10/ 4 幌別中学校 垣内委員長出席

② 公開研究会等の視察

10/30 幌別中学校：垣内委員長・赤井委員
11/13 幌別東小学校：赤井委員
11/15 鷲別小学校：垣内委員長･森口委員
11/21 若草小学校：赤井委員

③ 教育ふれあいウィーク視察

10/30 教育講演会(幌別中) 垣内委員長
11/1･8 市内一斉学校公開日「ふれあいウィーク」土曜授業視察
若草小～垣内委員長 富岸小～赤井委員
緑陽中～赤井委員

④8/27･28 北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会
滝川市 垣内委員長・森口委員・赤井委員・教育長 出席

⑤1/27･28 胆振管内教育委員会委員研修会
登別万世閣 垣内委員長・森口委員・赤井委員 出席

⑥卒業証書授与式出席

幌別小学校(3/20)・幌別中学校(3/14)・・・・・・・・・・・・・垣内委員長
鷲別中学校(3/12)・鷲別小学校(3/19)・・・・・・・・・・・・・森口委員
富岸小学校(3/19)・西陵中学校(3/13)・緑陽中学校(3/12)・・・赤井委員
登別小学校(3/19)・登別中学校(3/12)・・・・・・・・・・・・ 堅田委員
青葉小学校(3/19)・登別明日中等教育学校(3/1)・・・・・・・ 武田教育長

⑦その他

入学式・運動会・学芸会等、随時参加

２ 重点施策の評価

項　　目	１　確かな学力の向上
点検内容	基礎･基本や活用する力など学力向上プランに基づく取組の支援、学習支援専門員の配置、基礎的な問題の開発や授業以外での学習支援など、家庭や地域と連携した取組を推進する。

取組状況

○本市「学力向上対策」の共有～「３つの基本目標」と「８つの具体的な取組」の明示

目標１　学ぶ意欲をはぐくむ

小　学　校	中　学　校
・知的好奇心を高める教材提示に工夫を ・意図やねらいを明確に示した活動を ・学んだことと経験とが結びつくように	・自主的に学ぶ態度を育てる単元導入や終末工夫を ・主体的な探求活動や自主的な集団活動を ・学んだ内容が日常生活に役立つ実感を

目標２　活用する力を高める

小　学　校	中　学　校
・自分の言葉で表現する活動を ・根拠を明らかにして説明する活動を ・理解を深める学び直しができる活動を	・自分で考えたり、調べたりする活動を ・共通点･相違点を明確にして、説明し合う活動を ・得られた結果について考察できる活動を

目標３　学習習慣を身に付ける

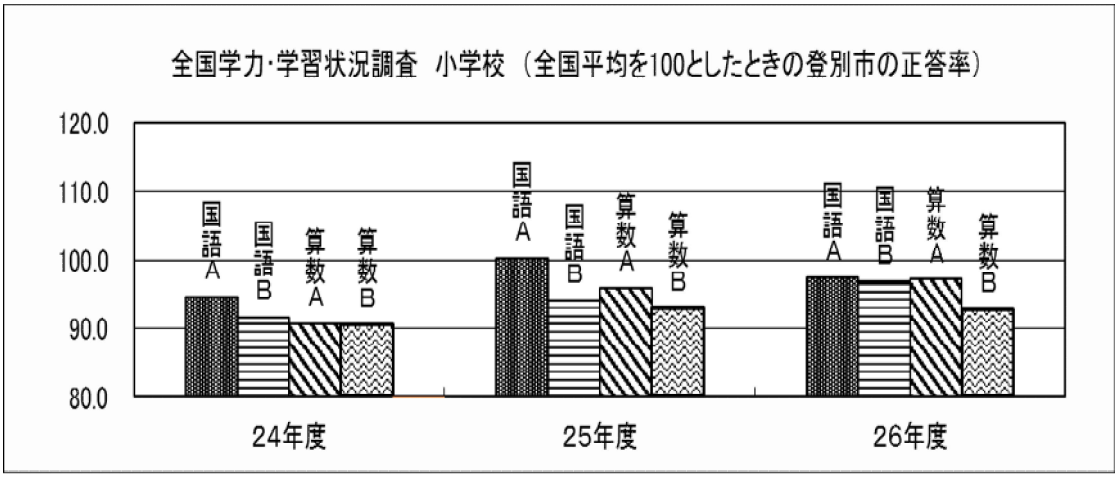
小　学　校	中　学　校
・生活リズムが身に付くように ・自分で決めた時間に勉強する習慣を ・学びが定着する家庭学習を	・規範意識が高まるように ・自分なりの目標で勉強に取り組む態度を ・学びが広がる家庭学習を

取組　１：全国学力･学習状況調査自己採点　　２：道教委･市教委作成チャレンジテストの活用
　　３：小中連携教育の推進　　４：家庭学習の推進
　　５：読書活動の推進　　６：学習サポートの推進
　　７：全国学力･学習状況調査結果の公表　８：学習支援グループの新設

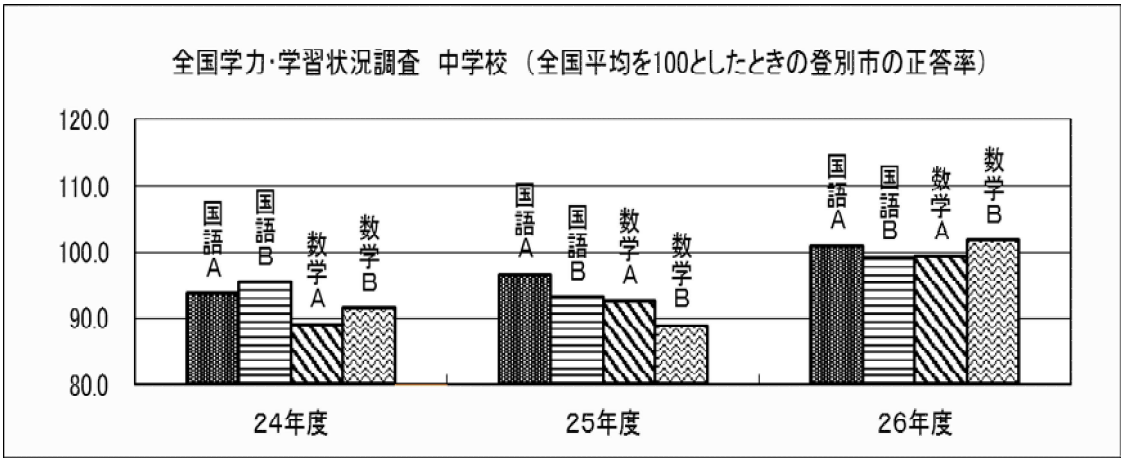
○全国学力･学習状況調査　市内小中学校結果分析と市の課題の明確化

⑴全道平均を１００とした時の登別市の正答率の状況

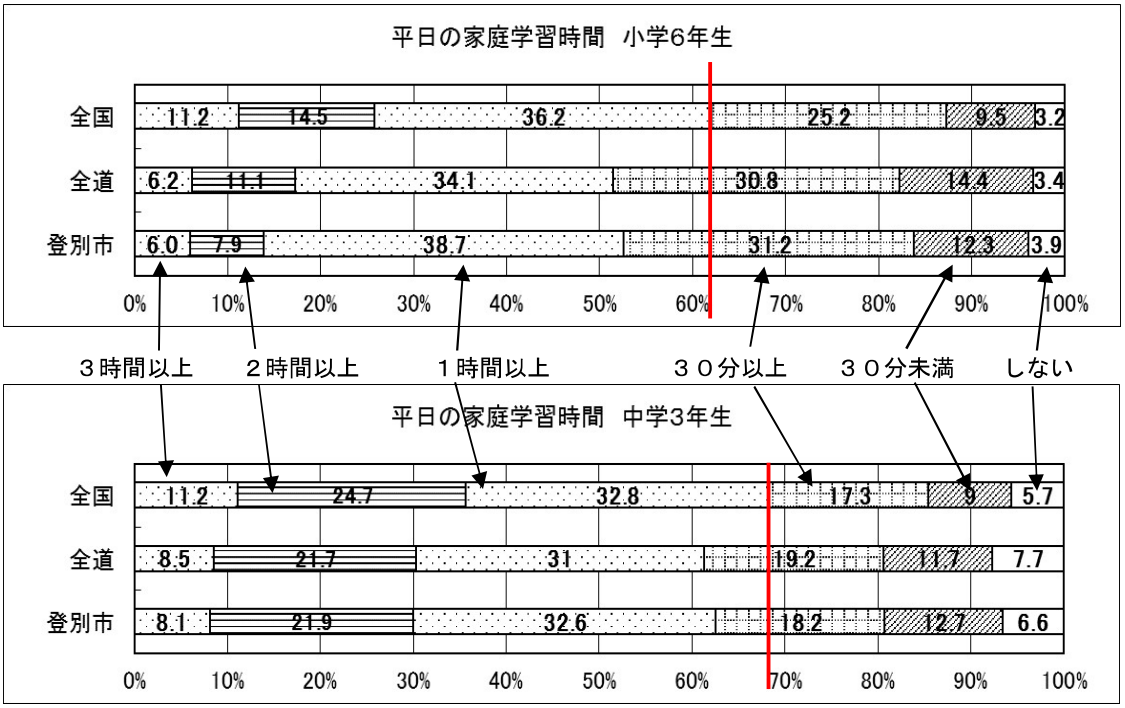
小学校　・全国平均を上回る教科はないが、３年間の中では改善がみられる。
　　・３年間を通して、算数Ｂに課題がみられる。



中学校　・２教科で全国平均を上回り、３年間の中でも大きく改善した。



(2)児童･生徒質問紙「１日の家庭での学習時間」全国･全道と本市の比較



・小学校･中学校ともに「１時間以上」学習する子は、全道よりも多く全国よりも少ない。
・小学校で「３０分以上」学習する層を「１時間以上」取り組むようにしたい。
・中学校の「しない」層の微増を防ぐ手立てが必要。

○各校作成の「学力向上プラン」に基づく取組の支援
・教育課程課題検討委員会（第１回学力向上対策会議）の開催　7/15
　具体的な取組の確認と交流
　①全学校で全国学テ自己採点を実施：設問別の正答率、誤答の傾向を把握
　②チャレンジテストの効果的な活用：学力向上Webシステムを活用し道内の状況と比較検討
　③小中連携教育の促進：中学校区内で全国学テ結果の共有　出前授業、校内研修の相互参加
　④家庭学習の推進：家庭学習の手引きの家庭配布・家庭学習に対する全校的な方針作成と実施
　⑤読書活動の推進：具体的な図書の目標例提示、検討と実施
　⑥学習サポートの推進：長期休業中や朝学習、放課後学習の推進
　⑦学力調査結果の公表：調査内容別平均正答率を２～３ポイントで区分した表示

⑧学習支援グループの新設：学習指導員配置と登別版チャレンジテスト作成、放課後学習教室の支援

・教育課程課題検討委員会（第２回学力向上対策会議）の開催　12/24

①登別の現状と重点説明（市教委より）

平成２６年度全国学力学習状況調査の登別市の結果（正答率･質問紙の状況･クロス集計）分析

平成２７年度学力向上対策説明（３つの目標と具体的な１０の取組）提示

②道･管内の重点説明（胆振教育局義務教育指導班主査　佐藤育子氏）

平成２６年度調査結果に基づく道･管内の成果と課題、平成２７年度に向けた重点的な取組

③道･市の重点的な取組についての協議と各学校における成果が見られる取組の交流

○学習支援専門員の配置と取組

・配置　教育指導室に２名

・取組１　市内小中学校に対する啓発

４月　全国学テに向け「心構え」「事前問題」作成して各学校に配布

６月　全国学テ自己採点結果に基づき各校教育課程改善啓発資料を作成し各学校に配信

７月　小５･中２に「規則正しい生活習慣と学習への取組」リーフレット各学校に配布

１２月　冬休み家庭学習用問題を作成し各学校に配信

３学期　27年度全国学テ「理科」に向けた問題を作成し各学校に配信

取組２　放課後学習の実施

９月　「鬼っ子チャレンジテスト 算数（基本編）」を学年ごと、領域ごとに作成

「鬼っ子チャレンジドリル」(小１～小６ 算数４領域 約５３０ページ)を小学校に配信

放課後学習の推進支援

学校名	登録児童数	取組の状況	指導員
若草小学校	5年23名･6年17名	9/12開設 全11回実施　参加延べ人数185名	9名
登別小学校	5年16名･6年22名	9/22開設 全14回実施　参加延べ人数186名	12名
富岸小学校	5年33名･6年19名	10/22開設 全 7回実施　参加延べ人数142名	7名
幌別小学校	5年22名･6年12名	1/29開設 全 4回実施　参加延べ人数 87名	6名

○平成２６年度　長期休業中学習サポート実施状況

学校名	名　称	期　日	時　間	対　象	教 科	参加	内　容
幌別小	夏チャレンジ学習	7/28･29	9～11	４～６年	国語･算数	90	チャレンジテスト･課題など
	冬チャレンジ学習	12/25･26	9～11	４～６年	国語･算数	90	チャレンジテスト･課題など
鷲別小	夏ひなわし講座	7/25･28	10～11半	４～６年	国語･算数	のべ72	チャレンジテスト･苦手な問題
	冬ひなわし講座	12/24･25	10～11半	４～６年	国語･算数	のべ74	チャレンジテスト･苦手な問題
富岸小	夏学習サポート	7/28･29	9半～11半	５～６年	国語･算数	約177	漢字･文章題･少数乗除など
	冬学習サポート	12/25･26	9半～11半	５～６年	国語･算数	約187	漢字･文章題･少数乗除など
登別小	サマースクール	7/29～31	9～11半	４～６年	国語･算数	58	基礎的･発展的内容
	ウィンタースクール	12/24～26	9～11半	４～６年	国語･算数	61	基礎的･発展的内容
青葉小	学習サポート	7/24･25･28	10:～11半	５～６年	国･算･理	約70	チャレンジテスト･過去問題
	学習サポート	12/24～262	10:～11半	５～６年	国･算･理	約60	チャレンジテスト･過去問題
若草小	若草学びタイム	7/28～30	10～11半	２～６年	国語･算数	のべ350	チャレンジテスト･過去去問題
	若草学びタイム	1/15～16	10～11半	２～６年	国語･算数	のべ200	短作文指導･算数の復習
幌西小	夏学習サポート	7/25･28･29	9～11	４～６年	国語･算数	50	ドリル、漢字検定問題
	冬学習サポート	12/25･26	9～11	４～６年	国語･算数	50	ドリル、漢字検定問題
幌東小	チャレンジスクール	7/25･28･29	9:35～11:15	２～６年	国語･算数	のべ108	国語･算数のプリント
	チャレンジスクール	1/14,～16	9:35～11:15	２～６年	国語･算数	のべ119	国語･算数のプリント
幌別中	夏期講習会	7/28～31	8:40～11:30	１～３年	国社数理英	約120	サマーワーク問題

	冬期講習会	12/25･26 1/8～1/9	8:40～11:30	1～3年	国社数理英	約120	生徒のニーズを基にした復習問題
鷲別中	夏学習サポート	7/29～8/1	9～12	3年	国社数理英	80	･生徒持参の課題等
	冬学習サポート	12/22･24･25 1/6～8	9～12	1～3年	国社数理英	230	･生徒持参の課題等 ･教科担任作成のプリント
緑陽中	夏休み講習会	7/25･28～31 8/1、4～8	9～15	3年	国社数理英	60	1～3年の学習内容
	冬休み学習会	1/7～9	9～15	3年	国社数理英	30	1～3年の学習内容
西陵中	夏休み補習学習	7/25･28･29	9:30～12:00	1～3年	国社数理英	80	1学期の復習中心
	冬休み補習学習	12/22～24	9:30～12:00	1～3年	国社数理英	約75	2学期の復習中心
登別中	サマースクール	7/25･28･29	9～11	1～3年	国社数理英	約70	自主学習･3年特設学習
	ウィンタースクール	12/24～26	9～11	1～3年	国社数理英	約70	自主学習･3年特設学習

評　　価	課題検討委員会（学力向上対策会議）を通して、全小中学校の教務主任等学力向上担当者に胆振管内アクションプランに基づく本市の「学力向上対策」を各校の実践に反映させることで、１３校の足並みをそろえた取組ができた。学習支援専門員作成の「鬼っ子チャレンジテスト･ドリル」の活用、放課後学習教室の開設など、授業時間外の学習の確保もスタートすることができた。 全国学力･学習調査の結果、中学校ではほとんどの科目で全国平均を超えるとともに、小学校でも改善傾向が見られ、学校間の格差が大きく改善されるなど、学力向上において一定の成果がみられた。児童生徒質問紙では平日の学習時間において「1時間以上学習する」割合は全道平均を上回った。
今後の方向性	引き続き「学ぶ意欲」「活用する力」「学習習慣の確立」を各校の共通目標に掲げ、指導方法･指導内容に対する工夫改善の取組を支援する。また放課後や長期休業中の学習室の拡大、質の向上を図り、学校、家庭、地域が連携した取組を推進し、全国学力調査において小中学校ともに市内平均が全国平均と同等以上をめざす。

項　　目	**2　教職員の資質能力向上**
点検内容	「教育実践研究奨励校」の指定、「巡回教員活用事業」「地域連携研修事業」の取組や、「学校力向上総合実践事業」の成果を市内各学校に波及するよう支援すると同時に、校長会を通じ服務規律の徹底に努める。

取組状況

○教育実践研究奨励校

学校名	領域･教科	研　究　主　題	年度
幌別小	学習指導	確かな学力を育てる授業の創造～教師の授業力向上目指して	26･27
登別小	学習指導	ことばを大切にして意欲的に学ぶ子どもの育成	26･27
富岸小	学習指導	一人一人が主体的に学び、共に高め合う子の育成	26･27
幌別中	その他	豊かな人間力を育てる教育活動の実践 ～学力向上と人間関係力の育成を目指して	26･27
幌東小	学習指導	分かる喜びを知り、意欲的に学ぶ子どもの育成 ～思考力･判断力･表現力の高まりを目指して	25･26
鷲別小	学習指導	確かな学力を身に付け、生き生きと学ぶ子どもの育成 ～基礎的･基本的内容の定着を目指した算数科の授業づくりを通して	25･26

		～個に応じた人とのかかわり合いを目指して	
若草小	学習指導	思いや考えを、意欲的に伝え合う子どもの育成 ～算数科における算数的活動の工夫を通して	25･26
幌西小	学習指導	学習意欲を高め、自ら学ぶ児童の育成 ～算数科「数と計算」領域における指導過程･指導方法の研究を通して	25･26
鷲別中	学習指導	思考力･判断力･表現力を育むための探求活動 ～基礎的･基本的な知識･技能の活用を通して	25･26

※公開研究会　10/30幌別中　11/13幌東小　11/15鷲別小　11/21若草小
27年度予定　登別小・富岸小(11月)

○巡回教員活用事業

巡回教員：辰田晃幸教諭　　本務校　若草小学校　　兼務校　鷲別小学校・幌別西小学校

	若草小			幌別西小		鷲別小		合　計
	4-2	5-1	6-2	5-1	5-2	1-2	2-2	
指導日数	113日			34日		34日		181日
実施時数	149	155	158	43	43	61	59	668時間

成果：若手教員への具体的な指導の実現　全校体制での若手教員指導体制の確立
定量的な評価が可能な指標の設定　文科省･国研及び道教委指導資料等の活用

○地域連携研修事業～12/26　主体校：白老町立社台小学校へ研修

参加者数　幌別小２名　幌西小１名　幌東小２名　鷲別小１名　青葉小２名　若草小１名
登別小１名　富岸小１名　西陵中２名　鷲別小４名　緑陽中２名

○学校力向上に関する総合実践事業実施報告書(概要)　実践指定校～幌別小　近隣校～幌西小･幌東小

	具体的取組内容	実施内容及び成果	到達目標の結果 (　)：昨年度
教育課程等	○学力向上プランの策定 学校・学級プランの作成 ○児童の実態、学力調査の結果分析による学力向上プランの改善の実施　4回 ○学力向上に関わる学年学級経営交流会議～学期毎実施	○各学級でプラン作成。 １学期＝全国学力調査等結果分析,日常の見取り踏まえて作成 ２学期＝単元テスト等学級の実態を関連させた手立てを修正 ３学期＝総括として、年末に成果と課題をまとめる ○学級・学年ごとの児童の実態を基に効果的な指導の在り方を探るため、学級学年経営交流会を各学期で実施し職員間で学び合い、検証を行った。	○保護者アンケート 「授業分かりやすい」 90.6%。(83.3%) 「ＴＴ等の指導形態の工夫」95.2%。(89.6%)
	○全国学力調査の実施と分析 ↓ 学力向上プランの改善	○複数教師で即日採点、教務分析、翌朝実態と傾向を全教職員に提示。補充指導に役立てる。８月結果到着後に再分析、指導の方策再提示。扱う該当学年や領域を明示し職員全体の当事者意識高め、学習内容の再指導につなげた。	○分析と評価は年間2回実施再指導ポイント明示し取り組むことができた。
	○子どもの実態に基づいたTTによる指導の推進～指導重点単元の設定とTTによる指導の推進	○日常から学級担任とＴＴ担当が連携して学習計画について綿密に打ち合わせ、一人一人の実態を共通理解し指導に役立てる。 ○グループ別など指導形態を工夫した授業展開をした。	○ＴＴ指導時数 国語:616時間(629時間) 算数:615時間(632時間) 理科:521時間(475時間)
	○長期休業における補充的指導の機会の設定、個に応じた指導	○長期休業中は、夏季・冬季２日間補充学習を実施した。 ○配信のチャレンジテスト、サポート問題等のほか、個の実態に応じた学習内容(教科書の復習等)を取り上げた。	○４～６年 夏季:のべ143名(167名) 冬季:のべ166名(178名)
	○発達の段階に応じた「学習の約束」の作成 ○学習用具の統一	○全校で基本の型を設定し､学年の発達段階に合わせて修正を加え、統一性のある指導を行った。 ○学校として基本を提示、学年の系統性を考慮した。	○保護者アンケート｢授業分かりやすい」 90.6%(83.3%)

	○家庭での生活習慣づくりチェックシート	○１週間ごとのチェックシートを作成し、３年生以上で実施。家庭学習の時間確保、習慣づくりにつながった。	○活用率95%(95%) 3～6年生
	○学習環境整備や学習規律を定着させるための教師の自己チェックシートの作成	○授業内容、学級経営などのチェックシートを作成。「環境整備編」「授業編」「運動会編」「修学旅行編」「宿泊学習編」「雰囲気編」「学芸会編」「通知表作成編」	○全教師が活用。 ○と△で自己評価し、改善を図った。
	○新体力テストの実施と分析 体力向上プラン策定と実施 ○全校短縄チャレンジタイム	○５年生は全種目、３・４年生は４種目実施した。 ○持久力と走力に課題。持久走や短縄、長縄の実施 ○体育の準備運動として年間継続　土曜授業で取組紹介	3･4年生全種目で全国平均を超えた。 持久力･技が向上
	○研究授業、公開研究会、テーマ別研修会への参加等による近隣の小学校間の連携深化	○授業参観交流で近隣校の児童の実態や授業づくり等把握し合った。高学年担任が授業を見合うことで課題を共有し合う大切さを確認した。	○学期ごとの交流実施 初任者～近隣校来校2回 近隣校訪問3回
	○中学校への円滑な接続のための教育課程の交流、授業･協議参加、幌中教諭出前授業	○授業参観交流→学習規律の接続の在り方等の連携図る ○中学校教師による出前授業～異校種間連携に有効と確認。児童理解が深まり、相互の不安が解消された。	○規律策定の協議３回 ○出前授業２回、２月実施。外国語や協同学習
	○登別市幼保小連携協議会に参加するなど連携教育の推進	○引継ぎや日常の情報交流を行う。学級編成などの共通理解等に役立てることができた。	○連携協議会全て参加 幼稚園来校と訪問実施
地域・家庭との連携	○学校支援地域本部事業のコーディネーターとの連携を図った体験的な活動の充実	○児童の読書にかかわる活動の一助として、図書ボランティアによる図書貸出や返却、整理等の業務を、年間を通して行った。スキー学習の指導もボランティアで実施。	○ボランティア 図書9名(11名) スキー14名(16名)
	○学校支援地域本部事業のコーディネーターを中心とした水田での体験活動の推進	○田植え、稲刈り、収穫祭などの体験活動を推進。地域の方の協力による乗馬体験も実施できた。	○田植え30名(30名)、稲刈20名(20名)、収穫祭23名(28名) 乗馬体験19名(24名)参加。
	○コミュニティー･スクール導入による学校課題の共有化と支援体制の構築	○学校運営協議会設置。随時校内の様子を伝え幅広い視点で意見をいただき学校経営に生かした。今後幼保小中連携･地域連携で開かれた学校を目指すことを確認。	○年3回の学校運営協議会を実施。授業参観後に行った。
	○地域と連携した土曜授業の実施	○年4回実施。全て保護者や地域の方へ公開し、本校教育を発信することができた。	○連続時間の確保、情報発信で有効的。
人材育成	○管理職による毎日の授業参観と指導	○毎日実施し、主に授業づくりに関して学級担任個々への事後指導を適時行った。	○経験段階に応じそれぞれの授業力を高めた
	○日常の授業実践を中心にした初任者研修の実施 ○校内及び近隣校の教員を講師にテーマ別研修会の実施	○学年研修･課題研究を通し初任者の実践的な指導力向上を図ることができた。 ○研修の全体計画に基づき年代に応じた研修課題を設定し、指導力向上につなげることができた。	○初任者研修168時間 （うち授業研修26回） ○10年研対象者が講師でテーマ別研修2回実施
	○初任期の職員が在籍する学校へ校内授業研等案内し授業づくり等を学び合う機会充実	○学力、道徳、行事の指導などをテーマにミニ研修実施。本校の初任者や若手教員のみならず、近隣校の教員も参加した。近隣校含め３校で初任段階教員授業研を相互公開。	○ミニ研修講座年間21回実施。(20回) ○各回5～10名参加
その他	○外部からの継続的な助言指導と教育課程･指導方法の普段の見直し	○6月･10月　教育局指導班　学校経営や授業づくり助言 ○11月　学校力事業アドバイザー菅沼肇氏　西小で講演 ○11月　同アドバイザー野中信行氏　助言及び講演 ○2月　同アドバイザー村山紀昭氏　講演	○アドバイザーに校内研修では直接指導を受け、その後講演を行っていただいた。
	○視察の受入れ ○ＨＰへの研究成果の掲載 ○日常的な授業公開	○日常的に視察、来校者への資料配付、ＨＰの定期的更新を継続し、実践を広く公開した。	○道研1名･局1名･森町さわら小2名･胆振高校教頭会21名来校(76名)

評　　価	教育実践研究奨励校の取組では、研究を進める主体者としての自覚を高めるとともに、広く公開し研究の質を高めることができた。巡回教員活用事業では、若手教員の具体的な指導を継続して行うことで、高い効果を上げた。地域連携活用事業では白老町の教育実践に直に触れ交流を深め、自校の実践に役立てることができた。 学校力向上総合実践事業として、今年度も幌別小学校を実践指定校、幌別西小学校と幌別東小学校を近隣校として実践計画をもとに、包括的な学校運営のあり方についての研究を進めた。学校運営協議会の設置や土曜授業の新たな活動を盛り込み地域との連携を強めるとともに、学校長を中心に、他校の若手教師も含めた指導、教育課程の改善や指導方法の研究推進と成果の発信、家庭との連携など、到達目標を明確にした取り組みを進めることができた。
今後の方向性	継続される「学校力向上に関する総合実践事業」の成果を市内各学校に還元される取組を一層進めると同時に、子どもたちが主体的、協働的に学ぶ新しい学習スタイルに対応するため、研修機会の充実に努める。

項　　目	**3　特別支援教育**
点検内容	「個別の教育支援計画」の一層の活用で幼少期から連続した教育支援を図るとともに、介助員の配置やトイレの改修、階段昇降機の整備など、実態に応じた支援に努める。

取組状況

○市内小中学校の特別支援学級の状況　　（　）：昨年度

	小　学　校	中　学　校
知的障害学級	5学級 12名 (5学級 14名)	4学級 8名 (4学級 7名)
自閉･情緒学級	8学級 34名 (8学級 26名)	4学級 16名 (3学級 8名)
肢体不自由学級	2学級 2名 (2学級 3名)	2学級 2名 (2学級 2名)

担当教員	38名(31名)
介助員	6名(6名)
学習支援補助員	15名(15名)

○連続した教育支援を図る取組

・各種研修会

登別市特別支援教育振興協議会第１回研修会　7/3 緑陽中学校　１９名参加

講師：胆振教育局教育支援課義務教育指導班指導主事　吉岡　大介氏　WiscⅣ 活用と実技

登別市特別支援教育振興協議会第２回研修会　1/7　緑陽中学校　１３名参加

講師：胆振教育局教育支援課義務教育指導班指導主事　吉岡　大介氏　WiscⅣ 活用と実技

・特別支援学級作品展・・・・・・・・10月24日（金）～31日（金）

内容　：作品を通した交流により間接的に思いを感じたり伝えようとしたりする態度を育成し、コミュニケーション能力の向上を図る。

主催者：登別市特別支援教育振興協議会

参加　：展示作品合計74点　(小学校48点　中学校26点)

・特別支援教育懇談会・・・・・・10月28日（火）

内容：登別市内の障がい者団体と教育委員会が市内小中学校の特別支援教育のあり方を意見交換。

参加：登別市障がい者福祉関係団体連絡協議会：１名　　肢体不自由児者父母の会：１名

手をつなぐ育成会：２名　　登別市ことばを育てる親の会：３名

評価：特別支援学級の訪問、特別支援教育の現状、質問事項に対する回答などについて率直な意見を交換することができた。

○実態に応じた支援

・トイレ洋式化(鷲別中学校)～教室棟、管理棟の男女トイレの便器を和式から様式に取替

・階段昇降機の整備～市内２中学校

○参観

・鷲別中学校特別支援学級　8/22(金)13:30～

参観者：登別市障害者福祉関係団体連絡協議会会長･副会長･事務局長

○就学に係わる取組

事 業 名	担 当	内　　容
巡回教育相談(道特セン)	学教G	8/25~8/27　相談者：保育所1名･幼稚園6名･小学校5人･他2名
就学指導委員会 9月～12月	学教G	○適正就学に向けた取組 ・委員の幼稚園･保育所訪問観察･検査、担当者との懇談 ・諮問：11/19　答申：12/17（全委員出席） ・総合検査：11/21　検討審査：12/3・12/4・12/5・12/8
就学指導委員の学校訪問	学教G･対象校	9～11月実施
1日体験入学	全小学校	２月各学校で実施
新入学児童合同引き継ぎ	幼･保･小	○3/25幼保･小実務担当者会議(就学時引き継ぎ)

評　　価	特別支援教育振興協議会では、年２回吉岡氏を講師に迎え、実技について系統立てて指導をしていただき、参加者は、幼少期からの連続して教育支援を行うことの重要性を再認識することができた。市内障がい者団体の特別支援学級参観や教育懇談会への参加を通し、各種団体との連携を深めることができた。 就学に関する指導では、一人一人の子どもの状況に応じて、関係機関と密接な連携を図り情報を収集するとともに、保護者との面談を通して思いや願いを聞き取りながら適切に取り組むことができた。
今後の方向性	就学前から一貫した支援を行うため、「市就学指導委員会」を「市教育支援委員会」と改称するとともに、教育委員会に「特別支援教育推進委員」を配置し、幼少期から連続した教育支援、一人一人にニーズに応じた教育の充実を進める。

項　　目	**4　幼保･小･中連携教育**
点検内容	前年度の幼稚園教諭･保育士･小学校教諭による交流懇談会の成果を生かし、保育体験や施設視察など更なる連携を図り、一貫した教育を推進する。

取組状況

○平成２６年度の幼稚園・保育所と小・中学校の連携事業

・日常の情報交流について

事　　案	発 信 元	内　　容
流行性疾病による学級閉鎖	学教G	・学校名・学年・罹患率・欠席者数
気象警報等による緊急対応	学教G･学校	・暴風雨雪警報・注意報発令時：市、学校区の対応
不審者情報・凶悪事件	社教G･学校	・警察・胆振教育局からの情報：市、学校区の対応
行事案内	学　校	・年間行事予定・学芸会･運動会･卒入学式案内
学校だより	学　校	・月１回作成　１部配布
教育ふれあいウィーク案内	学教G	・事業一覧(掲示用)　10/30～11/8
教育委員会広報	学教G	・教育行政全般の活動報告

・指導者・子どもの交流について

幼保･小･中連携協議会	幼保小中	7/17登別市幼保・小・中連携協議会 ○出席：幼稚園代表･市子育てG･校長会代表･教育委員会 ○内容：25･26年度の取組と今後の事業の推進について
	幼保小	3/25「幼･保･小」実務担当者会議(合同引き継ぎ会)

		出席者：白菊幼稚園4名　登別聖心幼稚園2名 リリー文化幼稚園3名　コロポックルの森2名 室蘭にある幼稚園7園10名　市内保育所8名 市内小学校24名 ・日常から子どもを指導している職員が、就学前、就学後の実態や課題について、情報交流、意見交換を行った。
１日体験入学	全小学校 全中学校	2月：幼稚園・保育所児の小学校入学体験　指導者参観 2月：小6年生対象で授業参観等実施
１年生授業公開	全小学校	9月1校・11月6校・2月1校　幼稚園・市子育てＧ対象
幼小中合同避難訓練	登別地区	9/24津波合同避難訓練
小中合同避難訓練	幌別中地区	9/26幌東小・幌別中合同で津波対策避難訓練実施
家庭科～保育体験	各中学校	鷲別中　10/21・22・23　３年生　鷲別保育所 登別中　7/1　３年生　コロポックルの森 緑陽中　10/28・30　11/4・6　３年生　富岸子育て広場
総合的な学習の時間	各中学校	登別中　10/23　職業体験　２年生　コロポックルの森 幌別中　11/ 4　職業体験　２年生　市内幼稚園保育所 西陵中　11/12　職業体験　２年生　白菊・聖心幼・富士保
幼稚園視察	若小・市教委	2/20白菊幼稚園視察
保育所視察	教頭会	10/15鷲別地区３校教頭　職業体験と併せて視察

評　　価	「幼保・小・中連携協議会」は２年目を迎え、情報交流にとどまらず、幼保・小の職員の交流や児童生徒の幼稚園・保育所訪問などに取り組むことができた。３月の新入学児童合同引き継ぎでは、市内だけではなく、市外の幼稚園からの参加も継続でき、一人一人のきめ細かな引き継ぎを行うことができた。また、幼稚園や保育所の視察、共同行事などを通し,職員や子どもたちの交流も図ることができた。
今後の方向性	「幼保・小・中連携協議会」を中心に据え、校種ごとの特性や課題を共有し合うとともに、円滑な接続を図るための子ども同士の連携の強化を進め、一貫性のある指導を図る。

項　　目	**５　不登校・いじめ対応**
点検内容	「登別市不登校・いじめ等対策会議」を活用し問題の未然防止・早期発見・早期対応に努めるとともに、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・心の教室相談員を配置し、適切な支援を行う。「いじめ防止基本方針」「いじめ防止を実効的に行う組織」策定の支援と、情報モラルやマナーの向上を目指した「ネットモラル教室」の開催を実施する。

取組状況

○問題の未然防止・早期発見・早期対応

・第1回登別市不登校・いじめ等対策会議

日時：平成26年5月20日（火）15：00　場所：登別市民会館視聴覚室

参加：校長会代表・教頭会代表・各小中学校担当・教育委員会（教育指導専門員・青少年支援員・児童生徒支援員・ＳＳＷ含む）

内容：25年度本市不登校・いじめ認知数・教育相談状況・26年4月状況報告

26年各種事業確認・情報交流「各校の今年度の取組」

第2回登別市不登校・いじめ対策会議

日時：平成27年2月17日(火)15：00　場所：登別市民会館視聴覚室

・第1回ふれあいサポート懇談会　日時：平成26年7月4日(金)15：00　場所：登別市民会館小会議室

第2回ふれあいサポート懇談会　日時：平成26年10月17日(金)15：00　場所：登別市民会館小会議室

・第1回教職員研修会（事例研修会）日時：平成26年6月24日(火)15：15　場所：登別市民会館中ホール

参加人数：小学校101名　中学校76名　計177名

第2回教職員研修会（教育講演会）日時：平成26年10月30(木)　場所：幌別中学校

13:00　グループセッション～子どもの支援ツール「ほっと」の多様な活用法

豊かな人間関係づくりと学力向上･いじめの未然防止

14:10　講演「コミュニケーション力、学力、健康、そしてＫ－１２　学校教育におけるストレングスアプローチ」　北海道医療大学心理科学部教授　富家直明氏

・サポート懇談会(7月4日･10月17日)　・教育指導専門員による相談(電話・来室)11件

・学校訪問　年2回（6月中旬・9月中旬）　・いじめ実態集約（年3回）

・中学校区地区別情報交流会（6月と3月）

・保護者懇談会～希望により随時開催(定例懇談会は毎月第2火曜日)

・自然体験･宿泊体験･個に応じた指導は、希望により随時実施

・適応指導教室「スタディ広場」

・いじめ・ネットトラブル根絶メッセージコンクール作品応募　小学校12点・中学校13点

○ＳＣ･ＳＳＷ･心の教室相談員の支援

・不登校出現件数・いじめ認知件数の推移

不登校出現件数の推移
(病欠以外の欠席累計30日以上)

	H22	H23	H24	H25	H26
小	9	6	7	8	5
中	28	30	26	25	23
計	37	36	33	33	28

いじめ認知件数の推移

	H22	H23	H24	H25	H26
小	18	27	19	26	7
中	28	5	50	22	3
計	46	32	69	48	10

・ＳＣ(スクールカウンセラー)～２名配置

活動状況　配置校：西陵中・鷲別中・緑陽中　派遣回数８４回

相談者	不登校	いじめ	暴 力	友人関係	教師との関係	親子関係	進路指導	性の悩み	その他	合 計
児童生徒	３１	１０	1	１５	1	5	1	0	１２	７６
保護者	６４	5	2	0	4	４６	0	0	3	１２４
教職員	３５	3	0	0	５２	6	0	0	１０	１０６
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	１０	１０

・ＳＳＷ（スクールソーシャルワーカー）～２名配置　活動状況

活 動 日	月・水・金の５時間(10:30～16:15)
活動内容	支援児童生徒　保育所2人　小学校15人　中学校12人
問 題 別	不登校11件　児童虐待11件　家庭環境4件　不良行為3件
訪問回数	学校49件　家庭7件　関係機関8件

・心の教室相談員～配置：鷲別中88日･幌別中80日･緑陽中99日･西陵中84日　来室者1411名・相談24件

○「いじめ防止基本方針」「いじめ防止を実効的に行う組織」策定の支援

「登別市のいじめ対応」において、地域いじめ対策委員会を位置づけ、学校評議員(学校運営協議会委員)を構成員とし、いじめ防止活動の活性化や重大事態発生時の対処に備えた。

○「ネットモラル教室」～市内小中学校において、児童生徒･保護者対象に開催

評　　価	各校の「いじめ防止基本方針」に基づく取組や、「不登校･いじめ対策会議」その他の取組により、いじめ認知件数を激減させ、成果を上げた。認知されたいじめや、不登校児童生徒への対応は、学校とＳＣ･ＳＳＷ･心の教室相談員その他関係機関との連携のもと早期解決に努めた。教職員研修会では「子どもの支援ツール ほっと」の活用方法を周知し、各校でいじめ未然防止役立てた。
今後の方向性	いじめの認知数減少を楽観視せず、組織的に実態をとらえ早期対応を進めることに力点を置く。「不登校･いじめ対策会議」を中心に情報の共有、事例研修を進め、いじめの起きない環境づくりに努める。不登校についてはＳＣ･ＳＳＷ･心の教室相談員を活用した相談体制の充実を図り迅速に対応する体制を構築する。

項　　目	**6　豊かな心の育成**
点検内容	学校や地域での様々な体験活動や道徳教育の充実を促し、命を大切にする心や思いやりの心、自律心や規範意識の醸成に努める。

取組状況

○道徳教育の充実

各校の道徳教育の重点に「生命尊重」や「思いやりの心」「自律心」等を位置づけ、道徳の時間を要として教育活動全般で、豊かな心の育成に取り組んだ。

○命の大切さや思いやりの心、自律心や規範意識の醸成を目指す体験活動

幌別小学校	学級園を中心に栽培活動　春、夏に児童による花の移植を実施
幌別東小学校	児童会によるリングプルの回収、学級園を中心に栽培活動、校外班による校区の清掃活動
富岸小学校	花壇や学年園、生活科での栽培活動　玄関ホール・各教室での飼育活動　キウシト湿原・亀田公園での自然体験活動　児童会によるリングプル回収、牛乳パックリサイクル　児童会活動によるいじめ防止のためのあったか富岸小運動
青葉小学校	ニジマス稚魚放流･ふれあい農園･世代間交流･キウシト湿原での自然体験学習･牛乳パックやリングプルの回収
若草小学校	ふれあい農園・世代間交流･美化委員会中心にリングプル回収
鷲別小学校	下校時の地域のゴミ拾い(空き缶)～児童会が企画　世代間交流　小動物の飼育 学級園の栽培活動
幌別西小学校	世代間交流、児童会によるリングプルの回収
登別小学校	児童会を中心に校区内公園清掃などの奉仕活動、リングプルやペットボトルキャップの収集　ふれあい農園、学級園等での栽培・育成活動　小動物とのふれあい活動 認知症サポーター講座
西陵中学校	校区内清掃活動･生徒会による書き損じはがき・ペットボトルキャップの回収
登別中学校	校下の清掃奉仕活動による地域の環境美化・性教育講座（妊婦体験）・世代間交流
緑陽中学校	ボランティア部による富岸子育てひろばでの幼児とのふれあい活動とケアハウスアンデルセンの丘でのデイサービス高齢者とのふれあい活動（毎週土曜日） 生徒会によるペットボトルキャップの回収
幌別中学校	「防災ボランティア局」による、災害時に自分を守る知識、要支援者への支援・介助（学校が避難所なったときの協力を計画） 地域の介護施設を訪問し、もちつきや演奏会の準備・片付け等の活動 登別温泉で英語による観光ボランティア活動の協力
鷲別中学校	生徒会によるペットボトルキャップの回収　ボランティア部による地域清掃活動 全校生徒による通学路清掃　「認知症サポーター研修講座」の実施

○「生命尊重・思いやりの心を育てる人権教室」　講師：登別市内の人権擁護委員
実施校：7月～幌別東小2・4年生・登別中全学年　9月～青葉小5年生
11月～鷲別小2年生・富岸小4年生　12月～若草小4年生
○室蘭人権擁護委員協議会「中学生人権作文コンテスト」　室蘭地区大会奨励賞：西陵中３年生受賞

評　　価	各学校の状況に合わせて、自然体験や社会体験、ボランティア活動の体験活動を重視した取組が進められた。各学校の道徳教育の重点目標に「生命尊重」や「思いやりの心」「自律心」等が位置づけられ、道徳教育が推進された。法務局や地域の人権擁護委員会が開催する事業に参加し、子どもの人権意識を高める取組を推進する学校が増えている。
今後の方向性	幌別中のようにボランティア局の活用で効果を上げている実践等の交流を図るとともに、土曜日の効果的な活用を促し、地域と共に子どもたちの心を育む環境づくりを模索していく。

項　　目	**7　読書活動**
点検内容	「第二次子ども読書活動推進計画」に基づき、朝読書活動や図書ボランティアによる読み聞かせなどの取組を促すとともに、司書有資格者を小学校図書館へ配置するなど、図書館機能の拡充を図る。

取組状況

各学校の読書活動推進状況

	読み聞かせや図書紹介	図書貸出・返却業務	図書購入	図書ボランティア	運営の課題・改善点	朝読書
幌別小	図書委員会が中心となり、読み聞かせや新刊図書を紹介	図書委員児童と図書ボランティアが、主に休み時間に行う	図書担当教員窓口、担任の希望で購入読書感想文指定図書を購入	読み聞かせなど	司書の配置による図書を学習活動に活用 専門家による整理方法の助言	毎朝10分実施
幌西小	図書ボランティアや入学時に担任・６年生の読み聞かせ 廊下掲示板に毎月図書館司書選書本紹介 図書室だより発行	休み時間に図書委員会の児童が行う	年２回購入 教職員、図書委員会、図書ボランティア 図書館司書が考慮し購入	月１回の読み聞かせ 季節の飾り付け 図書室の清掃や本の整理	並行読書進めるための図書が圧倒的に足りない 図書室スペース狭い 図書専用の机椅子の購入 読書教材授業実施	毎朝10分実施
幌東小	図書ボランティアや図書委員会による低学年への読み聞かせ 新刊図書の紹介 「お勧めの本コーナー」の設置	司書教諭や図書委員会児童が休み時間に行う	図書流通Cの見本市活用し購入　学校図書システム操作、管理方法の引継が課題	図書室の装飾・児童への読み聞かせやお話会の開催	文学や伝記など、長い読み物を読ませる 本の紹介や読み聞かせを多くし、児童の図書への関心を高める	水曜に10分間実施
青葉小	年３回、異学年読書交流を実施 朝読書の時間に高学年が低学年に読み聞かせを実施	図書委員が主に休み時間に行う	教職員、ブックサポーター学校司書の希望で執行	週１回の読み聞かせ 図書室の装飾	高学年向けの蔵書の充実 学習で活用できる本の購入	水曜日以外の毎日10分実施

鷲別小	図書ボランティア、ＰＴＡによる読み聞かせ、図書紹介を計画的に実施	図書委員が中心に、休み時間に行う	前後期に分け授業で必要な本や課題図書を中心に購入	図書室環境整備 新刊紹介 読み聞かせ	読書活動の啓発 小学生新聞の授業活用	月、水曜日に10分実施　火曜は20分
若草小	図書委員会、図書ボランティア、ＰＴＡによる読み聞かせ、図書紹介を計画的に実施	児童会活動の一部として、本の貸出・返却を実施	計画的(前後期)に執行	図書室環境整備 新刊紹介 読み聞かせ	図書貸出システム(パソコン、バーコードリーダー)の増台	火曜・木曜に10分実施
登別小	司書ボランティアによる読み聞かせ 図書室壁面飾り図書紹介	休み時間に図書担当者及び児童会委員が行う	図書担当教諭を中心に図書購入（児童リクエスト及び課題図書）	定期的な読み聞かせ図書室の環境整備	新刊更新 図書館経営の充実 バーコードリーダーの増設 小学生新聞の活用	火曜・金曜15分実施 中休み読書の実施（月１回）
富岸小	学年ごとにホール等で、保護者・担任による朝の読み聞かせを実施 教師によるお勧め図書の紹介 新刊の掲示板を設置し新刊コーナーを設け陳列	休み時間に、図書委員が行う	１学期中の購入	朝の読み聞かせを毎月２回程度、各学年保護者の自主的な取組として実施	多目的ホールが図書室なので、Ｈ２７年度に図書室開設を決定 学年毎にボランティアを募り組織的に実施回数・日時決める	毎週火曜日に読書タイムを実施 保護者、担任による読み聞かせも行う
幌別中	図書委員と図書ボランティアによる読み聞かせを年に数回実施	昼休み、図書委員が行う	１学期中の購入	貸出 推薦図書選定 読み聞かせ計画	生徒の読書量が増えるような取組をしたい	毎朝10分実施
西陵中	掲示板やコーナーを設け新着図書やオススメ本を紹介 毎月学級文庫の入替	月・水・金曜日の昼休み、図書委員が行う	年度の早期に購入を行うようにしていく	なし	図書室の読書環境の向上（書架の工夫、増設）	毎朝10分実施
鷲別中	図書ボランティア、ＰＴＡによる読み聞かせ、図書紹介を計画的に実施	図書委員が中心に、休み時間に行う	前後期に分け授業で必要な本や課題図書を中心に購入	図書室環境整備 新刊紹介 読み聞かせ	読書活動の啓発 小学生新聞の授業活用	月曜水曜10分実施 火曜日は20分
登別中	図書委員会（生徒会活動）での、図書紹介を実施	昼休み15分間、学習専門委員が行う	計画的に執行している	なし	定期的な本の整理生徒への本の並べ方指導	毎朝10分実施
緑陽中	図書委員会活動として各学年で委員が読み聞かせを実施 定期的に新刊紹介（掲示などの工夫）	昼休み、学年ごとに利用日を設定し、該当学年図書委員が行う	年３回に分け購入 職員・生徒の希望に沿うように興味関心を重視し購入	生徒と囲碁将棋を行い図書活動以外で関わり 図書館の環境整備	図書利用生徒を増やす活動の推進 委員会活動による朝読書の充実（点検活動、学級文庫の充実など）	毎朝10分実施

○学校図書担当者・学校図書ボランティア連絡会議および児童書展

1 ねらい　　読書に関する指導や学校図書館整備に関する活動などについて情報交換や交流を図り、市内各校の学校図書の充実及び児童・生徒の学校図書館活用の活性化を図る。

2 日　時　平成26年6月

3 参　加　①小・中学校司書教諭及び学校図書担当者14名　②市内学校図書ボランティア18名
③市立図書館2名　児童室担当者　　④学校教育グループ担当者

4 内　容

(1)　児童書展　　TRC（図書館流通センター）～実際に図書を手にして選書できる機会と児童書の情報提供
「図書館を使った調べる学習コンクール」展
～第16･17回受賞作品展示（主催：図書館振興財団）

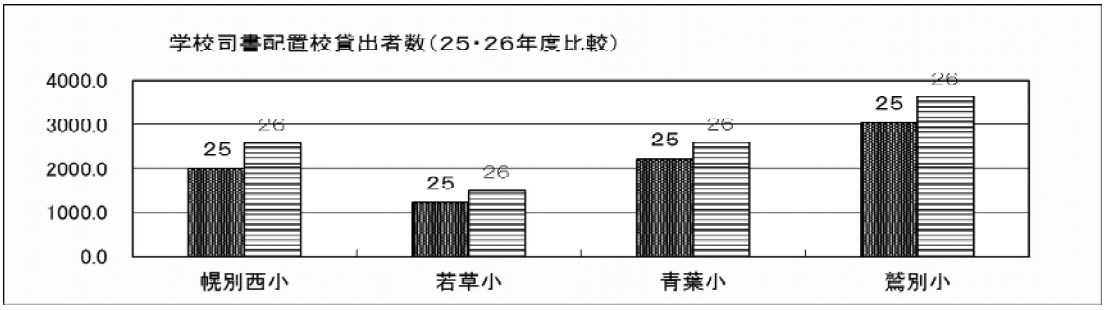
(2)　学校図書担当者・学校図書ボランティア連絡会議

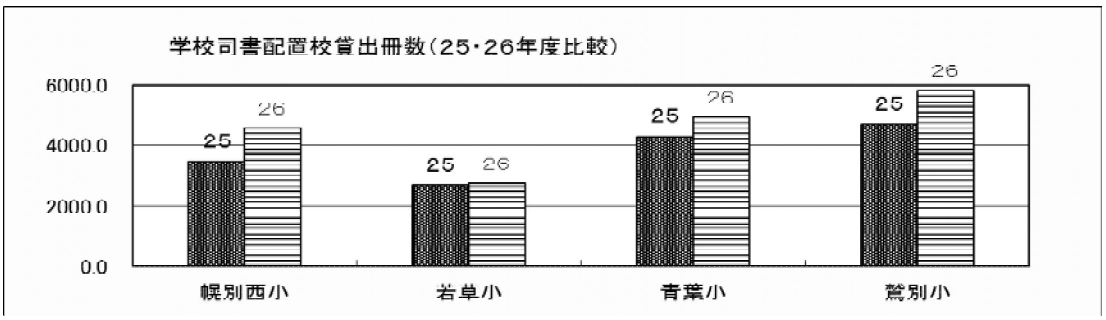
①事例発表：「子どもの読書環境の充実をめざして」発表者:学校司書　野村麻見子氏

②グループ別交流：「各学校の読書活動の取組の状況」～小中学校に分かれて交流
（読書活動の推進と学校図書館の整備･充実のための意見交換･情報交流）
グループ別司会　富岸小:石崎教諭　　幌別中:高橋教諭

○学校図書館担当職員（学校司書）の配置

鷲別小・青葉小に１名（鷲別小に火･金、青葉小に月･木）、若草小・幌別西小に１名（若草小に月･水、幌西小に火･木）配置。





評　　価	「学校図書担当者・学校図書ボランティア連絡会議」は２年目を迎え、学校図書館担当職員(学校司書)の取組の紹介や、各校での読書活動の推進状況を交流し合い、図書館機能の充実がなされた。学校司書配置校において、25年度と比べ貸出者数・貸出冊数ともに大きく伸びた。
今後の方向性	学校図書館担当教員の全小学校配置を行い、図書室の環境整備をはじめ、図書館のさらなる活用を図る。学校図書担当･学校図書ボランティア連絡会議を活用し各校の取組の良さを自校に還元できる機会の充実を図り、市内全学校の読書活動の推進を支援していく。

項　　目	8　体力向上
点検内容	学校での継続的な体力向上の取組や道教委の体力向上への参加を促すとともに、総合型地域スポーツクラブ「おにスポ」による体育コーディネーターの活用などを通し、体力向上と望ましい運動習慣の確立を図る。

取組状況

○平成２６年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果と分析（実施時期：平成２６年６月～７月）

小学校　５年男子

	実施数	身長(cm)	体重(kg)	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm	反復横とび(点)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ソフトボール投げ(m)	体力合計(点)
全国	542,684	138.9	34.0	16.6	19.6	32.9	41.6	51.7	9.4	151.7	22.9	53.9
北海道	21,731	139.5	35.4	17.3	18.9	32.7	40.2	45.3	9.6	150.6	23.3	52.5
H26登別	237	139.4	34.6	16.5	19.6	35.0	41.5	49.0	9.6	154.3	23.8	54.0
H25登別	199	139.8	35.3	16.7	19.7	34.5	36.8	41.9	10.1	151.0	22.8	51.0
H21登別	221	139.0	35.8	17.0	20.0	36.5	36.8	41.5	9.9	148.3	26.3	52.1

小学校　５年女子

全国	520,547	140.1	33.9	16.1	18.3	37.2	39.4	40.3	9.6	144.8	13.9	55.0
北海道	20,657	140.8	34.9	16.8	17.2	36.9	37.6	33.8	9.9	143.0	14.0	53.0
H26登別	190	140.0	34.8	15.9	17.7	39.5	39.1	36.1	9.8	145.0	13.8	54.3
H25登別	190	141.2	35.5	16.1	16.8	39.2	35.7	30.7	10.4	142.2	13.7	51.4
H21登別	220	141.4	36.3	16.2	16.4	40.6	33.5	32.3	10.1	139.9	14.9	51.8

中学校　２年男子

	実施数	身長(cm)	体重(kg)	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm	反復横とび(点	持久走(秒)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ハンドボール投げ(m	体力合計(点)
全国	498,292	159.6	48.5	29.0	27.5	42.9	51.3	392.9	85.3	8.0	193.4	21.9	41.7
北海道	20,140	161.0	50.1	29.5	26.4	41.1	49.0	411.1	79.7	8.2	192.2	20.5	39.7
H26登別	184	161.7	50.6	30.4	25.9	42.1	50.1	402.9	75.0	8.4	194.3	20.1	39.4
H25登別	184	161.0	50.7	29.6	26.9	41.7	51.2	396.0	82.5	8.2	188.8	19.9	40.1
H21登別	217	161.1	51.2	28.7	24.7	40.3	45.5	429.9	68.4	8.4	187.6	19.0	35.7

中学校　２年女子　　実施1校　実施４校

全国	474,639	154.8	46.8	23.8	23.0	45.1	45.3	292.7	57.2	8.9	166.2	13.0	48.4
北海道	19,494	155.3	47.3	23.4	20.6	43.5	42.2	313.4	47.3	9.2	160.9	12.2	43.8
H26登別	166	154.4	46.8	23.4	20.1	44.2	43.4	301.3	47.2	9.3	164.2	11.9	44.1
H25登別	174	155.5	48.6	23.9	20.6	41.1	43.3	301.2	44.9	9.1	166.7	11.9	44.5
H21登別	199	154.9	48.6	21.7	18.5	39.5	39.2	325.3	42.0	9.3	155.9	11.2	38.7

実施2校　実施４校

小学校男子～総合評価で、H21･H25と比較して向上し全国平均を上回った。種目別のシャトルランでは全国平均を下回ったものの大きく改善している。肥満傾向は解消されつつある。

小学校女子～総合評価で、全国と比べて－0.7ｐだが、これまでより大きく向上した。特に種目別のシャトルラン、50ｍ走、立ち幅跳び等で成果をあげた。肥満傾向は解消されつつある。

中学校男子～体力全体はH21時に比べ改善傾向にあるが、なお全国と比較して2.3ｐ低い。なかでも種目別のシャトルランなどで全国平均を大きく下回る。体重は肥満傾向が見られる。

中学校女子～総合評価で、全道平均は上回ったものの全国と比較して4.3ｐ低い。種目別の上体起こしやシャトルランなど、全国平均を下回った。体重は全国比＋0.1ｐで肥満傾向が解消された。

○体力向上１校１実践内容

幌別小	短なわとび　長なわとび
幌西小	短なわとび　長なわとび　持久走
幌東小	体力づくり週間　体育インストラクター活用有酸素運動の強化(年４回) どさんこ元気アップチャレンジへの参加
青葉小	長なわとび
鷲別小	なわとび級検定　北海道周回ランニング　サーキット・ラダートレーニング
若草小	なわとび
登別小	なわとび　すもう　スキー　持久走
富岸小	日常の体力づくり　なわとび（級付け）長なわとび
幌別中	部活動の強化　休み時間等の運動の保障
西陵中	持久走
鷲別中	長なわとび（生徒会活動に位置づけ）
登別中	筋トレ・ストレッチ・ランニング（体育授業開始５分間）　保健専門委員会による体力向上企画（体力・生活習慣ポスター・便り）
緑陽中	なわとび

○総合型地域スポーツクラブ「おにスポ」による体育コーディネーターの活用

派遣校	派遣日・時間	活動時間	活動内容
幌別東小	週３回 8:00～12:00	体育の時間 休み時間	授業支援・補助や運動環境整備支援・ストレッチ・スキー他
若草小			体育の補助・調整運動推進・スキー・水泳・陸上
登別小			準備体操指導・陸上・水泳・スキー・サッカー
鷲別小			準備体操・指導ポイント助言・個別指導・運動環境づくり

評　　価	小学校において、総合評価が男女ともに全国平均とほぼ同等となり、大きく改善が見られた。高い運動能力を示すＡの割合が大幅に増加した。中学校においては、総合評価が全道平均とほぼ同等だが全国平均を２ｐ以上下回っている。体格は女子の身長を除き全国平均を上回っている。特に中学校で20mシャトルランなど、俊敏性や走力に課題が見られる。１校１実践の体力向上の取組や体育コーディネーターによる運動環境の充実、「新体力テストエキスパート」講習会参加教諭による実施方法研修会、各校新体力テストの適切な実施が確実な成果を生んでいるが、一層の継続性が必要である。
今後の方向性	一校一実践の取組や新体力テストの全学年での活用、体育コーディネーターの活用の支援を通し、子どもたちの日常的、継続的な運動習慣の確立を目指す。家庭での生活習慣の改善や地域での運動の機会の充実を促していく。

項　　目	**9　健康教育**
点検内容	食育や歯の健康、薬物乱用防止などを通し、自らの健康を守る態度を伸ばすとともに、アレルギーに対する教職員の対応力向上のための研修会や講習会の参加を促す。

取組状況

○フッ化物洗口の実施状況　（　　）：昨年度

学校名	開始	対象数	実施数	割合
幌別小	H18	334人	320人	96%(96%)
幌別西小	H21	341人	330人	97%(97%)
幌別東小	H18	80人	77人	96%(96%)
青葉小	H20	337人	311人	92%(92%)
鷲別小	H22	287人	278人	97%(97%)

学校名	開始	対象数	実施数	割合
登別中	H23	110人	105人	96%(97%)
幌別中	H25	215人	176人	82%(69%)
西陵中	H25	168人	127人	76%(67%)
緑陽中	H25	386人	283人	73%(67%)
鷲別中	H25	265人	192人	73%(61%)

若草小	H18	345人	325人	94%(96%)
登別小	S54	169人	168人	99%(100%)
富岸小	H24	513人	449人	88%(88%)

実施率　小学校：93.9%　中学校：77.2%
(94.3%)　(69.7%)

○平成２６年度「食育」のための栄養教諭派遣状況

学校名	月日	曜	学年	教科・内容等	月日	曜	学年	教科・内容等
幌別西小	9/8	月	4	学級活動　ご飯のよさ				
若草小	7/15	火	5	家庭科（五大栄養素）	11/28	金	2	学級活動（楽しい食事）
登別小	10/24	金	2	学活・給食について	11/ 7	金	5	学活・栄養素のはたらき等
青葉小	9/19	水	2	学級活動	11/27	木	4	学級活動･食育指導
鷲別小	5/26	月	3	学級指導（食育）	9/24	水	4	食育指導
富岸小	9/10	水	6	学級活動（楽しい給食）	11/11	火	2	学級活動（楽しい給食）

○栄養教諭　勤務校での指導状況

幌別小　１年　10/8 給食を楽しく食べよう　11/25 食べ物を大切にきちんと食べよう
２年　8/26 何でも食べよう元気に大きくなろう　9/24 はし使いの名人になろう
３年　12/19 すききらいをしないで食べよう　3/18 食べ物を大切にして残さず食べよう
４年　6/16 朝ごはんのよさ、働きを見直そう　12/12 バランスを考えて食べよう
５年　9/29 見直そう生活習慣　11/18 バランスを考えた食事をしよう
６年　7/14 朝ごはんパワーアップ大作戦　3/2 食の安全について～食品添加物編

幌別東小　１年　7/16 給食を楽しく食べよう　２年　9/25 野菜名人になろう
３年　12/19 食べものの働きを知ろう　４年　2/26 バランスよく食べよう
５年　7/16 おやつの食べ方を工夫しよう　６年　3/18 バランスのよい食事について考えよう
※給食指導～毎日学級訪問　食育教室の充実～年間通して児童が学べる空間の確保

○薬物乱用防止教室

幌別小(12/12 5･6年 警察署員)・幌別西小(11/13 6年 保健所職員)・鷲別小(1/26･27全学年 養護教諭)
登別小(7/23 6年 保健所職員)・富岸小(2月 6年 担任教諭)・幌別東小(11月 6年 警察署員)
若草小(1/29 6年 養護教諭)・青葉小(7/17 5年 警察署員)　登別中(12月 3年 教科担任)
幌別中(10/8)・鷲別中(7/23)・西陵中(2/4)・緑陽中(6/17)～全学年 警察署員による。

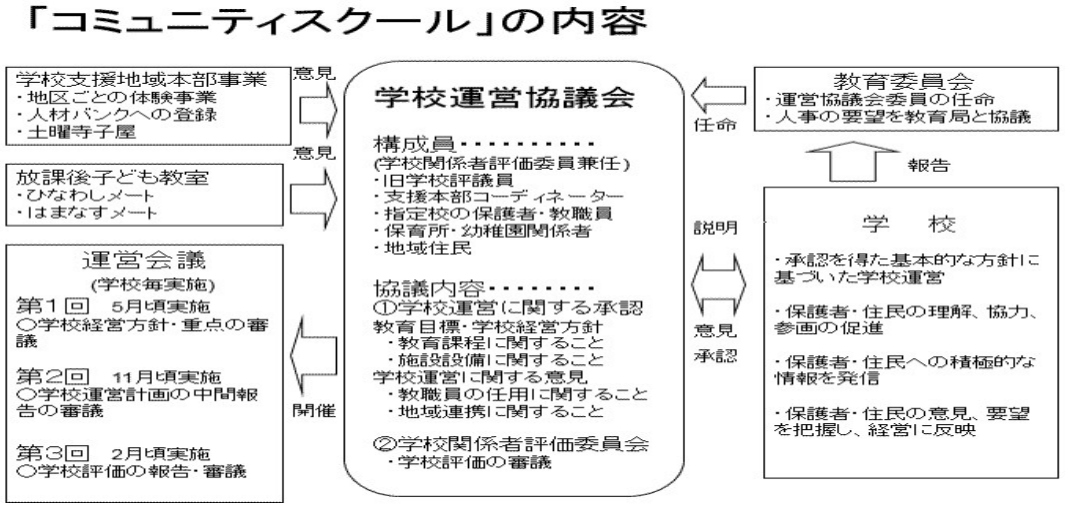
○アレルギー対応に対する啓発

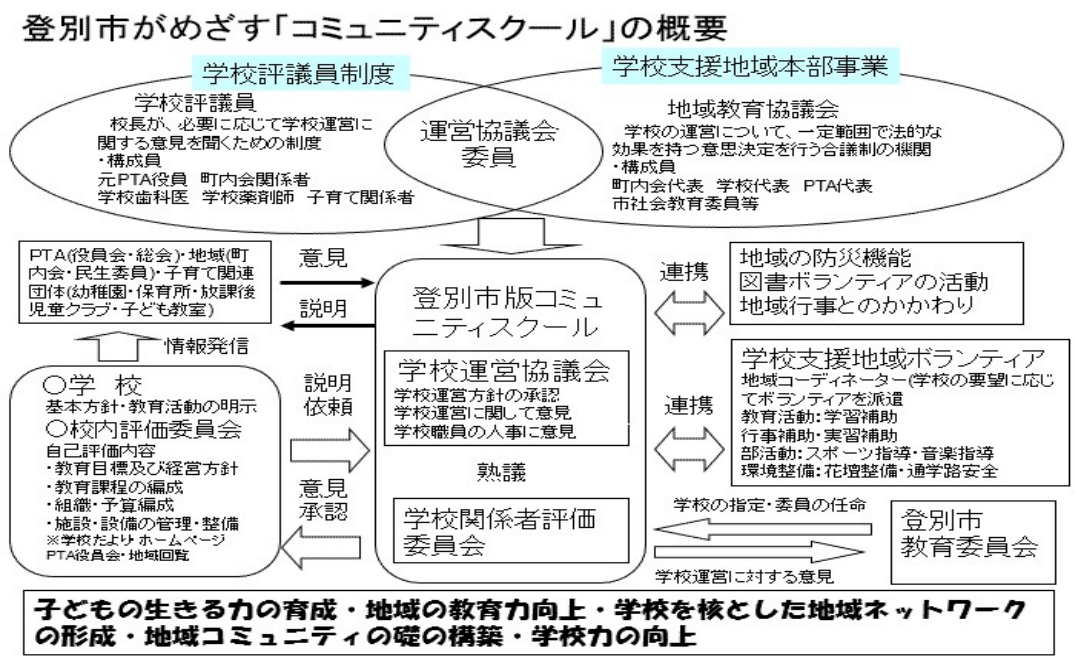
６月　校長会への情報提供～献立表･代替食関係の変更、豆乳の廃止やデザートの提供、今後の方向性の確認　各学校への周知を図る
市学校給食協議会（臨時）～アレルギー対応の変更について再度周知を図る
１１月　第２回市学校給食協議会～センター施設見学　意見交換
２月　第３回市学校給食協議会～27年度ピーナツは使用しないなど各校意見を集約し対応方法を決定

評　価	フッ化物洗口は全小中学校で実施。各校の呼びかけが成果を上げ、特に中学校での実施割合が大きく上がった。食育については、幌別小･幌別東小配置の栄養教諭が勤務校での食育教育の充実を図るとともに、それぞれが市内小学校３校を訪問し、各校の食育指導を支援することができた。薬物乱用防止に対しては、中学校で全学年、室蘭警察署員により実施。全小学校高学年でも実施した。
今後の方向性	児童生徒のアレルギー対応については、情報の共有を第一に考える。具体的な対応は「学校生活管理指導表」を活用し、医師の診断に基づいて適切に対応することを徹底していく。児童生徒に生涯にわたり健康で充実した生活を送る能力を身に付けさせるため、各教科や特別活動などを通して、心身の健康・安全全般についての知識や態度を習得させる。また、関係機関との連携を図り、外部講師を活用した教室の開催を促していく。

項　　目	10　地域とともにある学校
点検内容	コミュニティスクールを準備が整った学校から導入するとともに、土曜授業推進事業を全小中学校で取り組む。

取組状況





○学校運営協議会の導入及び活動状況

・導入校　全13小中学校（全校が学校評議員制度からの移行）・開催：各校ともに年間３回程度

・参加者：地域の方、ＰＴＡの方が２／３以上を占める。～広く意見が出やすい体制が確立された。

・実施回数：各校おおむね3回

・主な議題

学校評価～13校　学校経営方針～12校　　学力向上対策～7校　　いじめ防止対策～5校

体力向上対策～3校　　放課後学習～3校

その他

スキー学習・世代間交流・開校記念事業・豊かな心の育成・図書ボランティア・校舎耐震化・土曜授業など

○各校の土曜授業取組状況

・実践校

	月	日	1校時	2校時	3校時	備　考
幌別中	4	26	公開授業		いじめ撲滅集会	集会活動
	5	31	公開授業		学校花壇づくり	地域連携行事
	7	19	学力コンクール		いきいきなかよしタイム	学級活動
	8	30	公開授業	図書の講演会	学校祭準備	図書講演会
	9	13	公開授業	全校合唱練習	学校祭準備	学校祭準備
	10	4	公開授業	地域合同避難訓練		地域連携行事
	11	8	百人一首大会	主張発表大会		地域連携行事
	1	24	公開授業	認知症サポーター養成講座		3年：入試対策
	1	31	漢字練習	漢字検定		3年：入試対策・茶道教室
	2	21	公開授業	いじめ撲滅全校集会		集会活動

・協力校

	月	日	1校時	2校時	3校時	備　考
幌別小	7	12	短縄チャレンジ			短縄以外の学級普通授業
	8	30	写生・版画			文化的行事
	11	8	公開授業			ふれあいDAY
	12	13	公開授業			11:00　PTA交流会事業
登別小	7	12	OMB練習・農園	体力テスト	すもう学習・夏場所	地域行事参加(わくわく広場)
	8	30	OMB練習・収穫祭	体力テスト	すもう学習・一斉稽古	地域行事参加(地獄祭り)
	11	8	すもう学習	公開授業	OMB定期演奏会	ふれあいDAY
	12	13	公開授業	ふるさと学習発表会	道徳一斉公開授業	参観日
若草小	7	12	公開授業	学級活動	津波対応避難訓練	学力向上に向けた授業
	8	23	体力・学力向上		集団下校	体力向上対策：縄跳運動、
	11	1	公開授業			ふれあいDAY
	12	13	学級活動	公開授業		
鷲別小	7	12	公開授業		(学級懇談)	参観日
	8	30	芸術鑑賞会		通常授業	芸術鑑賞会
	11	15	公開授業		(研究討議等)	公開研究会
	12	13	公開授業		(学級懇談)	参観日
幌東小	7	19	公開授業			参観日
	8	30	東っ子タイム発表			東っ子タイム発表会
	10	4	学級活動	地域避難訓練		避難訓練
	11	1	公開授業			ふれあいDAY
幌西小	7	12	全校体力テスト			
	8	30	授業	地震津波避難訓練		午後4年，5年学級レク実施
	11	8	公開授業			ふれあいDAY
	12	13	授業	標準学力検査		午後6年学級レク実施
富岸小	7	5	不審者対応訓練	全校安全指導教室	学級活動	
	8	30	津波避難訓練		学級活動	PTAと協働の避難訓練
	11	8	公開授業			ふれあいDAY
	12	6	小中連携事業		音楽	緑中吹奏楽部演奏会

青葉小	7	19	公開授業			
	8	30	公開授業	津波避難訓練	保護者引き渡し訓練	保護者参加
	9	20	公開授業	芸術鑑賞会		文化的な全校行事
	11	8	公開授業			ふれあいウィーク学校公開
西陵中	7	12	授業	避難訓練		津波避難訓練
	8	30	授業	地域清掃		保護者・地域と地域清掃
	11	8	公開授業			ふれあいDAY
	1	17	合格祈願餅つき			保護者・地域と合格祈願
鷲別中	7	12	補充学習		学活（1学期の反省）	
	8	30	体育大会反省	主張大会代表発表	認知症サポーター養成講座	
	11	8	地域探索発表会	生徒総会		生徒総会：地域公開
	12	13	ふるさと学習発表	冬休み計画	1・2年：奉仕活動	
登別中	7	19	地獄祭り練習			地獄祭りオリエンテーション
	8	30	地獄祭り参加			地獄祭り
	11	8	公開授業			ふれあいDAY
	12	13	通常授業			
緑陽中	7	19	公開授業			参観日
	11	1	公開授業			ふれあいDAY
	1	31	公開授業	縄跳び大会		体育行事（3年）
	2	14	公開授業			参観日

評　　価	市内全小中学校で、年３回程度、のべ352人の参加のもと、学校運営協議会を進めることができた。学校評議員会を母体としたため議題は学校評価が多くなったが、進めていくうちに議題内容に広がりが見られ、学校と地域が熟議する基盤が確立してきている。子どもたちの土曜日の教育環境を整える「土曜授業」は実践校で年10日、協力校各4日行い、多様な教育活動を展開するとともに平日の教育活動の充実につなげた。その結果、学期１～２回程度の実施に保護者の70%、児童生徒の40%の賛成を得た。
今後の方向性	「登別版コミュニティスクール」の一層の定着を図るために、地域教育協議会のさらなる発展や、学校と地域住民が当事者意識をもち、一体となって地域の子どもを育む活動を支援していく。また土曜授業のさらなる充実を支え学校や家庭地域住民が連携して子どもたちを育てる体制を強固なものにしていく。

項　　目	**11　安全対策**
点検内容	研修会や安全教室、地震や津波を想定した避難訓練を支援するとともに「安全意識」「知識・理解」「自ら適切な行動がとれる能力」の育成を図るとともに「登別市通学路安全推進協議会」の設置と「進行プログラム」の策定を行う。

取組状況

○交通安全教育に関わる学校での安全教育

小学校～入学前の学校説明会で通学路地図を保護者に手渡し　実際に保護者と歩くことを推奨
新学期に合わせて交通安全教室実施　入学後一定期間、教職員による登下校指導実施
自転車等の実地指導実施

中学校～新学期に合わせて交通安全教室実施　自転車通学認めている学校ではパンフレット等作成し指導を重ね、安全意識啓発

○地震や津波を想定した避難訓練実施状況

幌別小学校	簡易避難訓練(月1回)～状況に応注意事項の指導　9/3津波発生時の避難訓練実施
鷲別小学校	地震対策避難訓練(7/7予告あり　7/16予告なし)　7/16高台避難の講話
若草小学校	7/12土曜授業日の際に全校と町会合同で実施
富岸小学校	5/8地震/火災時の避難経路確認　8/30津波避難の講話・避難訓練(保護者も参加)
青葉小学校	8/30地震・津波想定避難訓練・保護者引き渡し訓練
幌別西小学校	8/29西陵中及び片倉町内会と連携した津波避難訓練
幌別東小学校	9/26鉄南地区と幌別中学校合同で地域避難訓練を実施 10/4・3/5　地震津波避難訓練（ドミトリーと幌別中に避難所設定）
登別小学校	5/13地震・火災避難訓練　9/24登別中学校と合同避難訓練実施
緑陽中学校	5/8地震避難訓練・津波対処法講話　10/9避難訓練実施・自分の身は自分で守る指導強化
西陵中学校	7/12地震避難訓練→全校道徳→校舎4階避難→望洋公園避難
登別中学校	5/2避難訓練(地震・火災)消防による講話　9/24登別小合同避難訓練(津波)
幌別中学校	3年修学旅行時東北地方で防災教育実施　9/26鉄南地区と幌東小合同域避難訓練
鷲別中学校	6/4避難訓練(地震・津波)　10/1避難訓練(地震・火災)

○登別市通学路安全推進協議会の設置

11月11日　第1回協議会　構成:警察・道路管理者・市交通安全担当・教育委員会

「通学路安全推進プログラム案」検討～策定の背景・危険箇所の確認・検討と対応・安全プログラム等

○通学路の安全を確保するためのＰＤＣＡ

【Plan】	通学路の危険箇所の確認・通学路安全推進協議会の開催・合同点検の実施
【Do】	対策メニューの実施　危険箇所の整備・交通安全指導の実施
【Check】	危険箇所対策の検証・評価
【Action】	対策内容の改善充実

・26年度通学路危険箇所（新規）の点検対象地～合同点検は次年度

	点　検　対　象　地	状　　況
幌東小	幌別町8丁目クリンクルセンター手前バイパス交差点 幌別町5丁目・7丁目間の市道（学校前のＴ字路） 道道幌別停車場線と道道弁慶幌別線交差点 道道幌別停車場線幌別町１～８丁目	交通量多く事故多発 交通量多い　横断が危険 コンビニ側以外ガードなし ガードレール設置なし
登別小	登別市本町1丁目（国道から登別小まで）	大型車両等通行多い
若草小	美園サンクス前交差点 若草中央公園と児童センター間の道路	鷲別方面から来る車両事故多い 横断歩道なし 飛び出し多い
青葉小	青葉町登別すずらん病院前道道	歩道がなし 白線で仕切り

○メール配信システム～室蘭市や伊達市など、西胆振６市町の定住自立圏連携事業が進める、保護者向けのもの。学校から、災害・不審者情報などをいち早く確実に伝えるため普及を図っている。

実践校　（　　）：昨年度　～6校（3校）

登録数　（　　）：昨年度　～富岸小学校357世帯(351世帯)　登別小学校154世帯(108世帯)
幌別西小学校188世帯(124世帯)　青葉小学校229世帯
幌別小学校213世帯　　幌別東小学校61世帯

○情報安全教育実施状況

幌別小学校	12/16　「携帯マナー、非行防止教室」　対象：6年　講師：室蘭警察署員
幌別西小学校	12/11　ケータイ教室　対象：5・6年　講師：ＮＴＴドコモ札幌
鷲別小学校	11/4　「携帯安全教室」　対象：5・6年　講師：ＫＤＤＩ職員

登別小学校	H25にケータイ安全教室実施　講師：ＮＴＴドコモ職員　対象が5･6年のため隔年実施 文科省や道作成資料等での学級指導
富岸小学校	7/15　防犯教室　対象：全学年　主幹教諭による指導 12/2　ネットトラブル講習会 対象：6年と保護者 講師：NPO法人お助けネット 中谷氏
幌別東小学校	7月　「ちょっと待って！ケータイ＆スマホ」（文科省）　5･6年 8月　いじめ･ネットトラブル根絶！メッセージコンクール参加　6年 8月　「ケータイ、インターネットの利用に関する我が家のルール」（北海道）　4･5･6年
若草小学校	文科省や道作成資料等での学級指導
青葉小学校	7/17「防犯教室」（ネットトラブルについて）対象：5年　講師：室蘭警察署員
幌別中学校	4/25　携帯電話安全教室　対象：新1年　生徒指導部による講話
鷲別中学校	7/23　「情報モラル教室」　対象：全学年　講師：室蘭警察署員
登別中学校	8/22　「ケータイ安全講習」　対象：全学年　講師：ＮＴＴドコモ職員
西陵中学校	3/6　「ケータイ安全教室」　対象：全学年　講師：ＮＴＴドコモ職員
緑陽中学校	7/18「非行防止講話会」（ケータイ･スマホの正しい使い方）対象：全学年　講師：室蘭警察署員
評　　価	登下校時の安全対策については、入学時に安全教室等を開催し、指導の徹底を図ることができた。通学路の安全に関しては、市通学路安全推進協議会を中心に新たな危険箇所を明確した。不審者等の連絡徹底のためのメール配信システムも広がりを見せている。災害に備えた避難訓練に関しては、町内会や小中学校、幼稚園や保育所と合同で行う学校が増え、より具体的な対策がなされ、子どもたちの災害対応能力を育むことができた。また、津波災害に関する講話等の機会も設けられ、安全に対する意識を高揚することができた。 情報教育に関しては各校で計画的に取り組んだ。
今後の方向性	災害時に危険を認識し、日常的な備えを行うとともに、状況に応じて、的確な判断の下に、自らの安全を確保するための行動ができるようにするための防災教育を計画的、継続的に実施する。通学路の安全においては、関係機関との合同点検をもとに、新規危険箇所の認定やその改善策などの対応を明確にしていく。情報教育に関しては実態に応じて継続的に取り組むよう支援していく。

項　　目	**12　教育施設の整備**
点検内容	鷲別小体育館改築、鷲別中校舎耐震化、緑陽中体育館暖房工事を進めるとともに、幌別中･幌別東小･幌別西小の耐震診断を実施する。中学校トイレの洋式化や市民会館の玄関スロープ改修、岡志別の森運動公園の休憩所設置に取り組む。

取組状況

○登別市立小中学校の校舎・屋体の状況

①耐震診断の状況

	学校名	建物区分（棟）	構　造	階	床面積（㎡）	建築年	備　　考
1	幌別西小学校	校舎1	RC造	3	1,500	S55	H26年度耐震(2次)診断実施
		校舎2	RC造	3	3,606	S54	H26年度耐震(2次)診断実施
		校舎3	レンガ造	2	1,399	S31･33･35	
		校舎4	RC造	2	936	S47･S48	H26年度耐震(2次)診断実施
		校舎5	RC造	2	257	S48	
2	登別小学校	校舎1	RC造	2	2,718	S45･46	H25年度耐震(2次)診断実施

2	登別小学校	校舎2	RC造	2	1,082	S52	H25年度耐震(2次)診断実施
3	鷲別小学校	校舎1	レンガ造	2	1,919	S32	H22年度耐力度調査実施
		校舎2	RC造	2	1,511	S40・43	H22年度耐震(2次)診断実施
		校舎3	CB造	2	343	S37	H22年度耐力度調査実施
4	富岸小学校	校舎1	RC造	3	3,515	S53	H24年度耐震(2次)診断実施
5	幌別東小学校	校舎1	RC造	2	2,529	S45	H26年度耐震(2次)診断実施
6	青葉小学校	校舎1	RC造	3	3,356	S51	H22年度耐震(2次)診断実施
7	幌別中学校	校舎1	RC造	3	3,146	S50・51	H26年度耐震(2次)診断実施
8	鷲別中学校	校舎1	RC造	3	3,061	S37・42・43.47	H26耐震化済
		校舎3	RC造	3	744	S48	H26耐震化済
		校舎4	RC造	3	916	S51	H26耐震化済
9	登別中学校	校舎1	RC造	2	1,083	S38	H25年度耐震(2次)診断実施
		校舎2	RC造	2	53	S47	H25年度耐震(2次)診断実施
		校舎3	RC造	1	360	S38	H25年度耐震(2次)診断実施
		校舎4	RC造	1	308	S38	H25年度耐震(2次)診断実施
		校舎6	RC造	3	989	S47・52	H25年度耐震(2次)診断実施

②耐震化済み・新耐震基準等の棟

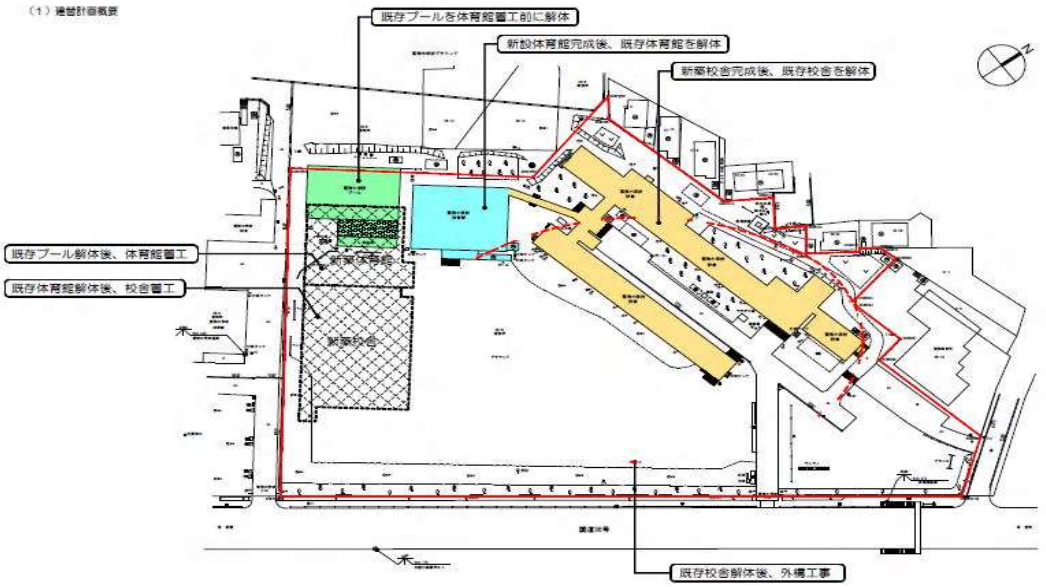
	学校名	建物区分(棟)	構　造	階	床面積(㎡)	建築年	備　考
1	幌別小学校	校舎1	RC造	2	4,394	H6	新耐震基準
		屋体1	SRC造	1	1,442	S53	H24耐震化済
2	若草小学校	校舎1345	RC造	3	3,908	S46・50・53	H14耐震化済
		校舎2	RC造	3	850	S58	新耐震基準
		屋体1	S造	1	1,176	S54	H14耐震化済
3	幌別西小学校	屋体1	S造	1	1,063	S58	新耐震基準
4	鷲別小学校	校舎4	RC造	2	367	S48	H22年度耐震(2次)診断耐震性あり
		屋体1	RC造	2	1,118	H26	H26耐震化済
5	登別小学校	屋体1	S造	1	902	S50	H25耐震化済
6	富岸小学校	校舎2	RC造	1	745	S53	H24年度耐震(2次)診断耐震性あり
		校舎3	RC造	3	506	S61	新耐震基準
		屋体1	S造	1	975	S53	H25耐震化済
7	幌別東小学校	屋体1	S造	1	1,042	S61	新耐震基準
8	青葉小学校	屋体1	S造	1	1,017	S52	H23耐震化済
9	幌別中学校	屋体1	S造	1	1,237	H7	新耐震基準
		校舎2	RC造	2	1,905	S36・40・49・.51	H26年度耐震(2次)診断耐震性あり
10	鷲別中学校	校舎2	RC造	2	760	S54	H23年度耐震(2次)診断耐震性あり
		屋体1	S造	1	879	S45	H22耐震化済
11	登別中学校	校舎7	RC造	2	338	S59	新耐震基準
		屋体1	S造	1	1,110	S52	H23耐震化済
12	西陵中学校	校舎1	RC造	4	4,826	S48・49・52・55	H11耐震化済
		屋体1	S造	2	1,126	S49・51	H24耐震化済
13	緑陽中学校	校舎1	RC造	4	4,632	S57	新耐震基準
		屋体1	S造	1	1027	S57	新耐震基準

○鷲別小学校改築工事（平成２６年～平成２９年）

	校　　舎	体　育　館
構　　造	鉄筋コンクリート造・一部鉄筋造	鉄筋コンクリート造
階　　数	４階建て	２階建て
床 面 積	5,361.53㎡	1,118.09㎡
建築面積	1,865.39㎡	1,193.04㎡
屋上までの高さ	約15.65ｍ（海抜約21ｍ）	約11.85ｍ（海抜約17ｍ）

工事の概要と校舎の位置

１．鷲別小学校改築工事の概要



完成予想図



○緑陽中学校体育館暖房改修～遠赤外線暖房機器（ガス燃料）６基新設
○中学校トイレ洋式化（鷲別中学校）～教室棟、管理棟の男女トイレの便器を和式から洋式に取替
○市民会館玄関スロープ改修～２方向のスロープ及び手すりの設置
○岡志別の森運動公園の休憩所新設
～木造平屋建　床面積104.34㎡　座席72席（テーブル12個・ベンチ24個）の設置

評　　価	学校の体育館は、地域の避難所としての機能を求められていることから、優先的に耐震改修工事に取り組んできたが、本年度、鷲別小学校の体育館の新築に取り組み、すべての体育館改修が終了させることができた。校舎も含め、全施設の耐震診断を終えた。
今後の方向性	幌別小・幌別西小・幌別東小の耐震結果を耐震化整備計画に反映させるとともに、青葉小学校の耐震化工事、鷲別小学校の校舎建て替え工事(H28完成予定)を進める。

項　　目	**13　学校適正配置**
点検内容	「登別市学校適正配置基本方針」に基づき、児童生徒数の変化や学校規模の動向、地域の状況など総合的な観点から検討を進め、児童生徒の良好な教育環境の維持に努める。

取組状況

○平成２６年５月　登別市学校適正配置基本方針　策定
・策定の経緯
平成２５年　８～　９月　　学校関係者アンケート実施　　各学校・中学校区の現状と課題の整理
１０～１１月　　中学校区別教育懇談会　　保護者や地域の方との情報共有と意見交換
１１～　１月　　登別市学校適正配置等検討委員会　適正配置等に関する提言
・適正配置の基本的な方針
１　学校の適正配置は、子どもたちの教育環境の維持・向上を基盤にすえ地域の実情に即して実施する
２　子どもたちの教育環境に著しく課題があると認められる場合に、保護者や学校、地域の意見を尊重しながら適正配置を進める。
３　将来の児童生徒数の動向を十分に考慮しながら協議し、適正配置を進める。
４　学校の適正配置は、学校関係者のみならず広く地域住民に対する啓発も進める中で実施する。
５　耐震改修スケジュールなど学校の安全性にも配慮して進める。
・学校規模の目安　小学校では１学年1学級（20人程度以上）以上、中学校では1学年2学級以上とする。
・適正配置の手段　通学地区の拡大・通学区域の見直し・通学区域の弾力化・小中一貫校の設置・学校の新設など
・適正配置の決定方法　規模の目安を下回り著しい課題が見られるようになった学校区に対して進める。その際、保護者アンケートを実施し、結果を元に地区別検討委員会(仮称)で話し合い、必要に応じ校区拡大委員会(仮称)を設置し進めていく。
・第3期登別総合計画期間内の検討課題
前期（H28～32）幌別東小で20人以下学級、登別中学校で1学年1学級～学校規模を満たしていない状態。
後期（H33～37）33年前後に青葉小、36年前後に幌別小・幌別西小・西陵中が1学年1学級になることが予想される。通学地区の全体的な見直しを含めた総合的な適正配置が必要。35年前後に登別小で学級規模が20人以下となる。学校や地域の要望を踏まえた適正配置を検討する必要あり。
○啓蒙活動
6月　学校や保護者、地域及び関係機関に発信。学校規模の目安を下回った時点で即検討ではなく、児童

	生徒や保護者の意見を第一に尊重すること、検討に入る際は教育委員会が判断すること、保護者等へのアンケート調査や懇談会を経たうえで地域を含めた検討委員会を設置するなど、慎重に手続きを進める旨を伝える。 11月　全地区で地区別地区懇談会開催。登別地区では12月にも行い、今後のめどを示した。
評　　価	啓蒙活動を展開し、登別市学校適正配置基本方針の理解を進めた。全地区で地区別懇談会を開催し、今後のめどを明らかにした。あくまでも話し合いのスタートは保護者や子どもたちにあり、学校の適正配置は子どもたちの教育環境の維持・向上にあるという共通理解に建てるよう努めた。
今後の方向性	第3期登別総合計画期間内前期検討課題に挙げられている地域に対し、学校運営協議会等で方針の理解を進めるとともに、保護者や地域の考えを話し合う基盤づくりを進める。

項　　目	**14　社会教育**
点検内容	「第４次社会教育中期計画」に基づき、各種社会教育施設や人材など、地域にある学習資源を生かしながら、多様な学習機会の充実とまちづくりや子育て支援など地域を支える人材の育成に努める。

取組状況

○第４次社会教育中期計画の目標と平成２６年度の実績

①青少年教育＝これからのまちづくりを担う青少年の健全な育成と地域教育力の向上

学校支援本部事業	各中学校区 通年	コーディネーターを配置し土曜日に体験活動を実施 幌中=ふれあい農園･音楽を聴く会　鷲中=昔の遊び体験･もちつき 緑中=川遊び､ｽﾎﾟｰﾂﾁｬﾝﾊﾞﾗ　西陵中=親子ふれあいまつり 登中=さけの採卵体験､史跡めぐり
少年の主張大会	幌別中6/2	中学生による意見発表大会　市内６校１２名出場
放課後子ども教室	鷲小・東小	放課後に子どもが安心して活動できる居場所づくり ひなわしメート＝122名登録　はまなすメート＝39名登録
子ども110番の家	通年(H26登録者更新)	地域住民・商店の協力による子どもの駆け込み場所　470件設置
成人祭	市民会館	実行委員による企画・運営　出席者375/561人　H27.1.11
通学合宿	ネイチャーセンター	小学5.6年生対象に共同生活を通し生活習慣の向上を図る １回目5/13～5/17　２回目9/30～10/4　３回目11/18～11//22　４回目12/9～12/13　のべ174名の参加

②成人教育＝幅広い年齢層に対応した学習活動の推進と自主学習の支援

登別ときめき大学	89名登録	市教委の基礎コースと各団体の講座を連携コースとした生涯学習 基礎コース8講座　連携コース84講座
市民マイプラン講座		サークル等が企画した講座や学習会を支援する 利用団体＝26団体（文化・工芸団体）
三市合同女性研修	1名派遣	女性リーダーの資質向上と地域づくりのための団体活動の活性化を目的とした西いぶり定住自立圏事業　8/28～31　埼玉県嵐山町

③高齢者教育＝自主的な学びの支援と、地域社会への学習成果の還元を促進する。

登別ときめき大学	89名登録	成人教育と重複

④全世代教育＝世代の枠を越えた学習や地域活動の支援と新しい公共を担う人材の育成

登別ときめき大学	89名登録	成人教育・高齢者教育と重複
市民マイプラン講座		成人教室と重複
年越し手打ちそば教室	23組	ボランティアグループＳＬＧを講師として伝統的食文化である「そば」の打ち方を体験し学ぶ。

○通学路巡回指導状況

	自転車等			危険な行為			その他			合　　計		
	H24	H25	H26	H24	H25	H26	H24	H25	H26	H24	H25	H26
16歳	6	10	4	3	0	0	0	0	0	9	10	4
17歳	9	19	9	10	2	0	0	0	0	19	21	9
18歳	1	13	4	2	1	3	0	0	0	3	14	7
合計	16	42	17	15	3	3	0	0	0	31	45	20

○市内大型店舗万引き補導状況

高校生 0人(H23 6人･H24 1人･H25 0人)　一般 20人(H23 12人･H24 12人･H25 16人)

○不審者･変質者出没件数　22件(H23 38件･H24 23件･H25 22件)

評　　価	青少年教育では、昨年同様、地域の各種団体の協力や学生ボランティアなどの協力を得て、様々な事業を推進することができた。成人・高齢者教育では、多様化する学習ニーズに応えるための様々な事業が実施され会員相互の研鑽と交流を図ることができた。巡回指導が成果を上げ、青少年以上の問題行動は減少傾向にある。
今後の方向性	「人々の支え合いと活気のある社会づくり」「知識･技能などの学習成果を地域社会に還元できる知の循環型社会」の実現を目指した、第４次社会教育中期計画に基づき、各種施策を展開する。地域人材登録や生涯学習人材バンク整備、各種講座開催等を進める。

項　　目	**15　家庭教育**
点検内容	親子の会話やスキンシップが深められた「家族の時間づくりプロジェクト」の充実と家庭教育学級の開設を通し、子育て支援や家庭教育の関する情報提供、学習機会の充実に努める。

取組状況

○家族の時間づくりプロジェクトの充実

25年度から国土交通省観光庁が推進する「家族の時間づくりプロジェクト」に取り組んでいる。

目的を、①家族の会話やコミュニケーションの場の増加、②公共施設利用による歴史や文化を身近に体験できる場の増加、③市内テーマパーク利用推進により市内経済の活性化、④有給休暇の取得率及びワークライフバランス向上の機会増加におき、学校(子ども)と大人(企業)の休みのマッチングを行い、暦にない独自の３連休以上の休みを創出した。

中学校区別の実施状況

中学校区名	実　施　期　間	備　考
鷲別中校区（鷲別小･若草小･鷲別中）	平成２６年１０月３日(金)～１０月５日(日)	長期休業中の1日減や開校記念日振り替えにて対応
緑陽中校区（富岸小･青葉小･緑陽中）	平成２７年２月６日(金)～２月８日(日)	
西陵中校区（幌別西小･西陵中）		
幌別中校区(幌別小･幌別東小･幌別中)		
登別中校区（登別小･登別中）	平成２６年１０月３日(金)～１０月５日(日)	

推進状況　・～6月13日　協賛団体との協議等
・7月9日15:00　第1回家族の時間づくりプロジェクト推進会議
・7月　第1回保護者通知
・8月　市民への全体周知
・9月　第2回保護者通知
・10月3～5日　鷲別中校区･登別中校区の実施　参加状況集約
・11月　次年度開催の検討
・12月　次年度の日程確認～校長会･市内私立幼稚園協会に提案
・1月　第2回保護者通知
・2月6～8日　緑陽中校区･西陵中校区･幌別中校区の実施　参加状況の集約
・3月23日15:30　第2回家族の時間づくりプロジェクト推進会議

協賛等団体

協賛：(株)登別マリンパークニクス･(株)登別伊達時代村･登別温泉ケーブル(株)･ＮＰＯ法人モモンガくらぶ･北海道曹達(株)幌別事業所

後援：室蘭商工会議所･連合北海道室蘭地区連合会･連合北海道登別地区連合会･登別観光協会･登別商工会議所･登別連合町内会

その他：登別私立幼稚園協会

共催：北海道運輸局室蘭運輸支局･登別市校長会･登別市

主催：登別市教育委員会

市内施設の利用状況（　　）：昨年度

市内小中13校	テーマパーク	市公共施設	スキー場	合　計	利用率
児童･生徒数	530人(1194人)	104人(133人)	324人(379人)	958人(1706人)	27.0%(47.3%)

※テーマパーク＝マリンパーク・くま牧場・登別伊達時代村　※スキー場＝サンライバスキー場

※公共施設＝市民プール・岡志別運動公園・ネイチャーセンター・郷土資料館等

○家庭教育学級の実施内容

ﾘﾘｰ文化幼稚園	7/2ヤマハミニコンサート　講師：ヤマハ音楽教室スタッフ 10/15スイーツデコ　講師：冨川　澄子氏（リボン工房「すみれ」） 1/30骨盤体幹エクササイズ　講師：おにスポスタッフ
登別ｶﾄﾘｯｸ聖心幼稚園	6/27バター作り　講師：のぼりべつ酪農館スタッフ 9/12緑風園訪問（園児の発表・高齢者との交流） 10/8エアロビ・アディダスボクシング　講師：加藤　伸幸氏

	12/1クリスマスリース作り 講師：澤田　知子氏（フラワーショップ青葉） 1/23そば打ち体験　講師：ボランティアグループＳＬＧ（郷土資料館）
白菊幼稚園	5/29ヨガ初心者教室　講師：廣瀬　淑子氏（NO国際総合ヨガ協会認定） 6/23アウトドア　講師：木村　義恭氏（白菊幼稚園園長） 9/2陶芸教室　講師：佐藤彰氏 11/5フラワーアレンジメント　講師：横尾　賢治（花善）
白雪幼稚園	7/3ふれあい祭　10/31ハロウィンパーティー 12/11お餅つき大会
登別小学校	6/26お菓子作り　講師：大谷　京子氏（料理塾「おおたに」） 9/30料理教室　講師：斉藤　美代子氏（登別市食改善推進員協議会） 10/22プリザーブドフラワー　講師：横尾　賢治（花善） 11/4施設見学（北海道コカコーラボトリング札幌工場） 12/19スポンジテニス・フロアカーリング　講師：登別市スポーツ推進委員
幌別東小学校	9/29音楽鑑賞会の見学及び食育学習会 11/4薬物乱用防止に係る講話の聴講 12/19キャンドルづくり　講師：寺島　恵美氏（わくわく工房「遊ing」）
幌別小学校	5/21雑巾づくり　給食の試食会 7/9施設見学　洞爺レークヒル（ジェラート作り体験） 伊達市防災センター（防災研修及び体験） 9/26スポンジテニス・フロアカーリング　講師：登別市スポーツ推進委員 10/31エコクラフト作り・給食試食会　講師：井上　由貴絵氏 12/9料理教室　講師：井上　由貴絵氏 2/17食育講演会・給食試食会
幌別西小学校	7/10フロアカーリング　講師：登別市スポーツ推進委員 10/30ディンプルアート制作　講師：渡辺　たまみ氏 （ディンプルアートインストラクター） 11/28そばうち体験　講師：ボランティアグループＳＬＧ（郷土資料館）
青葉小学校	7/7アロマ教室　講師：下山　千春氏 9/24施設見学（札幌ドーム） 11/19あて布作り・給食試食会
富岸小学校	7/17アロマキャンドル制作　講師：大野　まゆ氏（M’s Candle House） 9/19陶芸制作　講師：健千窯スタッフ 2/26子育て支援講演会　講師：中谷　通恵氏（NPO法人　お助けネット）
若草小学校	8/27施設見学（サッポロビール北海道工場） 10/30ヨガでリフレッシュ　講師：川西三奈氏 1/28ハーブ料理教室　講師：磯野 みゆき氏・清水 まさみ氏
鷲別小学校	9/10・10/21陶芸教室　講師：津村 千鶴子氏（健千窯） 12/3料理教室　講師：大谷　京子氏（料理塾「おおたに」） 2/3スポンジテニス　講師：登別市スポーツ推進委員

○家庭教育学級作品展　11/11～11/13　登別市民会館　6学級　54作品

○家庭の学習勉強会　7/16

テーマ：「長期休暇中の子どもの過ごし方」について

講師：北海道教育庁胆振教育局教育支援課　社会教育指導班主査　山田 智章氏　参加30名

○家庭教育学級講演会　9/18

テーマ：「みんな悩んで親になる」～子どもの発達を知って　あったか子育て～

講師：NPO法人子どもとメディア認定インストラクター

NPO法人お助けネット代表白老町地域子育てネットワークの会 中谷 通恵氏　参加30名

評　価

○家族の時間づくりプロジェクト～保護者アンケートから　回答数2440件　（　　）：昨年度

このプロジェクトに賛同するか

賛同する	1211件	49%(52%)
賛同しない	314件	13%(12%)
どちらでもない	895件	37%(33%)
回答なし	20件	1%(3%)

プロジェクトの来年の継続を希望するか

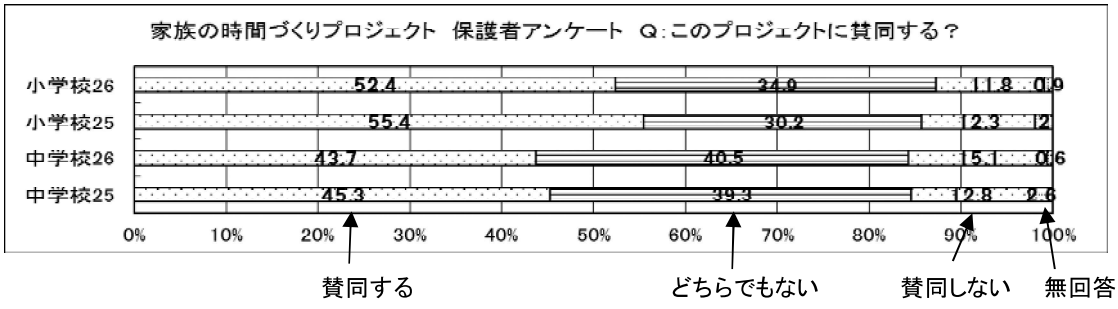
希望する	918件	37%(42%)
希望しない	436件	18%(17%)
どちらでもよい	1073件	44%(40%)
回答なし	13件	1%(1%)

連休をどのように過ごしたか

家で過ごした	941件	39%(34%)
市外にでかけた	289件	12%(11%)
施設利用券を活用した	628件	26%(36%)
その他	451件	18%(14%)
回答なし	131件	5%(5%)

連休期間休暇を取得できたか

取得した	784件	32%(35%)
できなかった	828件	34%(31%)
休暇申請はしなかった	639件	26%(26%)
その他	160件	7%(7%)
回答なし	29件	1%(1%)



昨年度に比べ大きく数字が減少している点は、「施設利用券を活用した」という点。一方、「賛同するかどうか」では大きな変化は見られない。プロジェクトの目的を再度確認するとともに、市内施設利用の啓発を図る必要がある。

○家庭教育学級（運営委員アンケートから）

・（社会見学）例年に比べて遠くまで足をのばし、初めての工場での見学でしたので良かったです。

・（料理教室）講師の先生が手取り足取りで教えてくださり、試食もでき、家に持って帰ることもできとてもよかったです。

・（工芸教室）清拭用のあて布づくりは施設へ送るために毎年続けているものです。ほかの活動と違い華やかさはありませんが、大切な活動だと思います。

今後の方向性

○家族の時間づくりプロジェクト

・日程の市内統一化を進めるとともに、保護者の勤務先に考慮し近隣市町との連携を深め、年休取得ができるような企業等への啓発活動を行う。市内施設利用の啓発も同時に進める。

○家庭教育学級

・実技講習会や講演会、作品展など、家庭での教育力が向上する取組、家庭での取組が評価させる取組を進めていく。

項　　目	16　児童生徒の健全育成
点検内容	青少年センターを中心に、街頭指導の強化や環境の浄化、通学路の安全対策などに取り組み、良好な環境の確保と非行防止活動に努める。

取組状況

○街頭指導の強化

・通学路巡回(通常巡回)状況と指導人数　　（　）内人数：女子

	通常巡回		特別巡回	合　計
	鷲別･緑陽中校区	登･幌･西･明中校区	(列車添乗･祭典その他)	
年間日数	199	195	42	436
年間回数	376	401	112	889
巡回人員	556	561	288	1405
指導人数	126(37)	93(39)	12(4)	231(80)

対象：高校生まで

※指導内訳

	自転車等			危険な行為			その他			合　計		
	H24	H25	H26	H24	H25	H26	H24	H25	H26	H24	H25	H26
13歳未満	10	9	68	20	56	76	0	6	11	30	71	155
13歳	6	7	5	0	1	14	0	0	2	6	8	21
14歳	11	2	23	9	2	4	0	0	0	20	4	27
15歳	4	4	4	9	1	4	1	0	0	14	5	8
16歳	6	10	4	3	0	0	0	0	0	9	10	4
17歳	9	19	9	10	2	0	0	0	0	19	21	9
18歳	1	13	4	2	1	3	0	0	0	3	14	7
合計	47	64	117	53	63	101	1	6	13	101	133	231

・市内大型店舗等万引補導状況

	小学生	中学生	高校生	一般
H23	0	1	6	12
H24	6	1	1	12
H25	5	2	0	16
H26	2	3	0	20

・不審者･変質者出没状況

	登別	幌別	鷲別
H23	3	13	22
H24	0	10	13
H25	1	9	12
H26	1	13	8

○浄化活動の推進

・有害環境の把握に努めるとともに、地域との連携を図り浄化活動を推進した。

・有害図書等の実態調査を実施し、各販売店に自主規制を求め、必要な措置を講じた。

○子ども１１０番スタディちゃんの家の状況（通学路等での不審者対策）

中央町:59件	常盤町:20件	登別東:35件	富士町:17件	富岸町:26件	美園町:35件
若草町:51件	中登別:3件	登別温泉:7件	登別本町:12件	幌別町:38件	鷲別町:30件
新川町:11件	片倉町:10件	柏木町:12件	青葉町:1件	カルルス:1件	千歳町:14件
緑町:5件	若山町:13件	新生町:45件	栄町:11件	桜木町:14件	

※平成26年度末の設置状況470件 昨年度497件(減少理由～転居や事業所移転等による)

評　　価	通学路巡回において、24･25年度と大きく変化している指導内容は、自転車等～二人乗り･無灯火･併進･車道逆送、危険な行為～道路で遊ぶ･スケートボード･キックスケーターなど。特に自転車に関しては規制変更が近いため指導する機会が多くなった。各学校の指導や巡回指導が成果を上げ、万引きや不審者出没状況は減少傾向にある。
今後の方向性	引き続き登下校の見守りや街頭指導、巡回指導に取り組むとともに、各種連絡協議会中心に、不審者対策、非行の未然防止対策の充実に努める。自転車の乗り方については、規制が施行される6月をめどに、家庭や地域への啓発活動を行い事故の未然防止を強化する。子ども110番スタディちゃんの家啓発を継続する。

項　　目	**17　芸術文化スポーツ振興**
点検内容	登別市文化･スポーツ振興財団や関係団体と連携し、市民の文化活動への参加促進と芸術鑑賞機会の提供、各種スポーツ教室やスポーツ推進委員による指導者派遣事業の取組を推進する。「こいのぼりマラソン」は市民の健康増進やスポーツ振興に向けリニューアルし、運営支援をする。豊かな地域社会の創出をめざし、「文化振興基本計画」「スポーツ振興計画」の策定を進める。

取組状況

○文化活動＝文化振興基本計画の推進

西いぶり定住自立圏 文化事業	12/16 442名	3市3町で行う芸術文化の鑑賞事業 ミュージカル「クリスマス・キャロル」会場：伊達市
サークル展	10/28～10/31	市民会館を中心に活動しているサークルの紹介と作品展 6団体出展　パネル参加9団体
文化財保護事業	4/10～4/25 1/17 2･3月	縄文出前講座 鷲小･登小･西小･東小･富小計226人6年生 アイヌ文化講座　アイヌ語や地名研究者山田市三氏に関する講演２本 古文書教室　2/14講座編　2/21･28実践編　3/7見学編
郷土資料館事業	300名	わんぱくサムライ体験 特別展5回　企画展3回
文化伝承館事業	SLG	べこもちづくり、布ぞうりづくりなど17回

○健康づくり・スポーツ＝スポーツ振興基本計画の推進

市民ラジオ体操会	7/26 239名	スポーツ推進委員を講師に、登別小・鷲小で実施 社会教育Ｇが所管
西胆振６市町小学生 スポーツ交流会	5/24 登別市 104名	西いぶり定住自立圏構想対象事業 青少年によるスポーツ交流

市民スポーツ・健康フェスティバル	10/5 489名	市内体育施設を会場とした市民スポーツ大会 岡志別の森運動公園：パークゴルフ･ソフトボール･駅伝大会 市民プール：水中玉入れ大会・障害物競争・健康測定会
学校体育施設開放事業	10施設	学校体育館を団体・サークルに開放する ※今年度から利用者による自主管理を全校で実施

評　　価	文化・スポーツ振興基本計画に基づいた各種事業に取り組むことができた。学校の体育館開放事業は自主管理で実施したが、利用団体の協力により、１年を通してスムーズな運営が行われた。
今後の方向性	「文化振興基本計画」と「スポーツ振興基本計画」を、これまでの成果を生かしながら、時代の変化に対応した新たな計画を策定する。また、10施設で開始した体育館開放事業の自主管理は、実施上の課題を検証・改善しながらよりよい形で進める。

項　　目	**18　図書館**
点検内容	図書資料や配本所機能の充実を図るとともに、図書ボランティアとの連携、各種イベントや展示会の開催を通し、図書館への関心を高める。また、地域情報センターを改装して「図書館分館」を八月に開館し、地域の知の拠点をめざす。

取組状況

○図書館分館の開設

８月１日、「地域情報センター」を図書館「アーニス分館」として改装し開館した。これに合わせ蔵書の増大な増加･雑誌の拡大(36誌)、地域行政資料コーナーの設置を行った。また、ＤＶＤ架や紙芝居架･拡大読書器の設置を行った。アーニス分館開館後の利用は以前の約２倍となった。

○図書ボランティアとの連携

「第２次登別市子ども読書活動推進計画」の取組として、今年度も「学校図書担当者･学校図書ボランティア連絡協議会」を開催した。また、わらべうた講座、読み聞かせ講習会などの研修会を実施した。

○主なイベント等の事業

5/ 5　「こどもの日の図書館事業」　手遊び･昔遊び･おはなし会･こどもアニメ祭り
5/10　ワークショップ「天空の図書館」 講師：富士翔太郎氏（アーティスト）
5/31　「ビブリオバトル入門ワークショップ」　講師：須藤秀紹准教授（室蘭工業大学）
6/19～ 7/ 2　「男女共同参画週間」　記念ロビー展示
6/21　「全国訪問おはなし隊」　主催：おはなしぽけっと
7/26　「夏休み工作」
7/17～ 8/10　「図書館を使った調べる学習コンクール」　第16･17回入選作品展
8/ 1　「アーニス分館」会館セレモニー
8/23･24　「第10回図書館まつり」
9/21～25　子ども読書活動推進事業「年長児の読書感想画展」対象：市内幼保　応募245作品
9/24　「学校図書担当･学校図書ボランティア連絡会議」（市民会館）
9/26　登別カルチャーナイト「ビブリオバトルカフェ」
10/18･11/ 8　「わらべうた講座」（２回）　講師：布施早苗氏
10/12～25　ロビー展示「世界食糧デー」記念展

10/26～11/12　ロビー展示「セピア色の光景～懐かしい昭和の暮らし～」展
11/14～12/ 4　本のリサイクル市
12/ 6　「クリスマス工作」
12/13　小･中学生の読書感想文･読書感想画コンクール入賞者表彰式
読書感想文応募：小学校374名･中学校96名　入選：小学校47名･中学校15名
読書感想画応募：小学校66名　入選：10名　文集『本は友だち』第40号発行
1/18　「ママさんのためのえほん講座－ママ、もう１回、読んで－」　講師：須藤和恵氏
2/ 8　読み聞かせ研修会『絵本の眼』　講師：高木三千子氏（児童図書相談士）
2/14　地域文化講座『たたら製鉄講座』　講師：石崎勝男市（室蘭登別たたらの会）
2/21　文化講演会「石村博子講演会－“その人”の物語を聴くということ－」
3/14　お父さんによるおはなし会　主催：おはなしぽけっと
3/14～ 4/ 3　雑誌と本のリサイクル市

○新規事業
・「ビブリオバトルの夕べ」（３回）　共催：いぶりびぶりぶ♪
・図書館システムのバージョンアップ、新サービス「いずれか予約･シリーズ予約」の開催
・雑誌の最新号の一夜貸しの開始（アーニス分館）

評　　価	・図書館のバリアフリー対策などのため、図書館協議会などで協議してきたアーニス分館を開館した。 ・市民からの要望が多かった雑誌の拡充を図った。また、アーニス分館で最新号の一夜貸しを始めた。 ・ボランティアの方々や市民からの多数の事業企画をいただき実施した。 ・一年を通し、常時さまざまなロビー展示を行った。
今後の方向性	・「課題解決型図書館」への取組として、アーニス分館のＩＴ環境を活用した各種データベースやデジタル資料を導入する。 ・西胆振広域ネットワークの一層の充実には物流の拡充が課題となっている。３市それぞれに事情を抱えているが今後も継続協議する。 ・小学校での学校司書配置に伴い、図書館の学校支援の見直しを行う。

項　　目	**19　学校給食**
点検内容	安全･安心なおいしい給食の提供と、経営の効率化、給食サービスの向上に努める。賄い材料の確保が難しくなることから給食費を改定する。

取組状況

○第５回登別市学校給食展

目　的　　学校給食の意義・役割等について、市民の理解と関心を高め、学校給食のより一層の充実、発展を図ることを目的とする。
期間･場所　平成２７年１月３０日（金）　登別市民会館大会議室
内　容　　①試食会　　・地場産品を活用した学校給食メニューを提供
②食育相談所　　・栄養教諭の先生とプチ食育相談
③食品業者紹介コーナー　・安全・安心な食品を届けてくれる業者の紹介
④給食展スタンプラリー
⑤手洗い教室
⑥その他　　・豆つかみグランプリなど

その他　　学校給食では、地産地消･地域の食材を知ってもらうため、地元事業者等と連携を図り、「のぼりべつ牛乳」をはじめ、前浜で取れた魚等を活用した給食メニューを提供してきた。本年は、地元の「登別牛」を使った牛丼を提供した。
（実績　H21:さら貝、H22:やなぎダコ、H23･24:登別牛、H25:前浜産たらこ）

○「和食」を伝えるための給食の実施(26年度)

月	和食の献立名
４月	豆ふとわかめのみそ汁
５月	牛すきやき
６月	いも団子汁
７・８月	ひやむぎ
９月	豆ふとなめこのみそ汁

月	和食の献立名
１０月	さつま汁
１１月	さわにしん
１２・１月	ぶた汁･三平汁
２月	豆ふとふのりのみそ汁
３月	さつま汁

○平成２６年度の給食費の額について

近年の食材の高騰や消費税の引き上げの影響を受け、賄い材料の確保が難しくなるほか、児童生徒の栄養摂取基準を十分に満たすことができないため、本年度で給食費を改定した。

校　　種	月　額（旧金額）	年　額（旧金額）	１食あたり（旧金額）
小　学　校	4,160円（3,850円）	49,920円（46,200円）	270円（250円）
中　学　校	4,960円（4,600円）	59,520円（55,200円）	322円（298円）

○アレルギー対策

５月　予定献立表及びアレルギー物質一覧表等の一層の詳細化、加工品の記載漏れ防止、各学校に分析表（ＣＤＲ）送付し個別対応を依頼。

６月　食物アレルギー対応献立表並びに調味料の詳細を示すよう要望があり、対応を開始。
校長会への情報提供　学校給食協議会での要望の聴取。

１２月　１０日前配布の要望→27年度改善方向で進める。

評　　価	「HACCPに基づく衛生管理導入の評価基準」の結果、本年度も最高評価の６と評価されたほか、調理員等の衛生管理講習会の実施や調理場内細菌調査などの自主検査を行うなど、安全、安心な給食の提供に努めることができた。 給食費を改定した結果、児童生徒に対し栄養摂取基準を十分に満たした給食の提供に努めることができた。 地元産の食材を使った特色あるメニューの提供、市内各校へ訪問しての栄養教諭の授業、給食展の実施など食育の推進などに取り組むことができた。 学校給食における食物アレルギーに対応するため、６月の献立表から原材料を詳細に記入したほか、原材料のアレルゲン表示したデータを各学校に配布するなど、学校給食における食物アレルギー対応に努めることができた。
今後の方向性	衛生管理の徹底に努めるほか、温食に使用している主な生鮮食品の産地を表示するなど、安全・安心な給食の提供に努める。 学校給食衛生管理基準を満たす新たな学校給食センターを整備し、安全・安心な学校給食の提供と経営の効率化と、給食サービスの向上に努める。

３ 重点施策の評定結果

	項　　目	点　検　内　容	評定
1	確かな学力の向上	基礎･基本や活用する力など学力向上プランに基づく取組の支援、学習支援専門員の配置、基礎的な問題の開発や授業以外での学習支援など、家庭や地域と連携した取組を推進する。	A
2	教職員の資質能力向上	「教育実践研究奨励校」の指定、「巡回教員活用事業」「地域連携研修事業」の取組や「学校力向上総合実践事業」の成果を市内各学校に波及するよう支援すると同時に、校長会を通じ服務規律の徹底に努める。	A
3	特別支援教育	「個別の教育支援計画」の一層の活用で幼少期から連続した教育支援を図るとともに、介助員の配置やトイレの改修、階段昇降機の整備など実態に応じた支援に努める。	A
4	幼保･小･中連携教育	前年度の幼稚園教諭･保育士･小学校教諭による交流懇談会の成果を生かし、保育体験や施設視察など更なる連携を図り、一貫した教育を推進する。	B
5	不登校･いじめ対応	「登別市不登校･いじめ等対策会議」を活用し問題の未然防止･早期発見･早期対応に努めるとともに、スクールカウンセラー･スクールソーシャルワーカー･心の教室相談員を配置し、適切な支援を行う。「いじめ防止基本方針」「いじめ防止を実効的に行う組織」策定の支援と、情報モラルやマナーの向上を目指した「ネットモラル教室」の開催を実施する。	A
6	豊かな心の育成	学校や地域での様々な体験活動や道徳教育の充実を促し、命を大切にする心や思いやりの心、自律心や規範意識の醸成に努める。	A
7	読書活動	「第二次子ども読書活動推進計画」に基づき、朝読書活動や図書ボランティアによる読み聞かせなどの取組を促すとともに、司書有資格者を小学校図書館へ配置するなど、図書館機能の拡充を図る。	A
8	体力向上	学校での継続的な体力向上の取組や道教委の体力向上への参加を促すとともに、総合型地域スポーツクラブ「おにスポ」による体育コーディネーターの活用などを通し体力向上と望ましい運動習慣の確立を図る。	A
9	健康教育	食育や歯の健康、薬物乱用防止などを通し、自らの健康を守る態度を伸ばすとともに、アレルギーに対する教職員の対応力向上のための研修会や講習会の参加を促す。	B
10	地域とともにある学校	コミュニティスクールを準備が整った学校から導入するとともに、土曜授業推進事業を全小中学校で取り組む。	A
11	安全対策	研修会や安全教室、地震や津波を想定した避難訓練を支援するとともに、「安全意識」「知識・理解」「自ら適切な行動がとれる能力」の育成を図るとともに、「登別市通学路安全推進協議会」の設置と「進行プログラム」の策定を行う。	B
12	教育施設の整備	鷲別小体育館改築、鷲別中校舎耐震化、緑陽中体育館暖房工事を進めるとともに、幌別中･幌別東小･幌別西小の耐震診断を実施する。中学校トイレの洋式化や市民会館の玄関スロープ改修、岡志別の森運動公園の休憩所設置に取り組む。	A
13	学校適正配置	「登別市学校適正配置基本方針」に基づき、児童生徒数の変化や学校規模の動向、地域の状況など総合的な観点から検討を進め、児童生徒の良好な教育環境の維持に努める。	A

14	社会教育	「第４次社会教育中期計画」に基づき、各種社会教育施設や人材など地域にある学習資源を生かしながら、多様な学習機会の充実とまちづくりや子育て支援など地域を支える人材の育成に努める。	B
15	家庭教育	親子の会話やスキンシップが深められた「家族の時間づくりプロジェクト」の充実と、家庭教育学級の解説を通し、子育て支援や家庭教育の関する情報提供、学習機会の充実に努める。	A
16	児童生徒の健全育成	青少年センターを中心に、街頭指導の強化や環境の浄化、通学路の安全対策などに取り組み、良好な環境の確保と非行防止活動に努める。	B
17	芸術･文化･スポーツ振興	「登別市文化･スポーツ振興財団や関係団体と連携し、市民の文化活動への参加促進と芸術鑑賞機会の提供、各種スポーツ教室やスポーツ推進委員による指導者派遣事業の取組を推進する。「こいのぼりマラソン」は市民の健康増進やスポーツ振興に向けリニューアルし、運営支援をする。豊かな地域社会の創出をめざし、「文化振興基本計画」「スポーツ振興計画」の策定を進める。	A
18	図書館	図書資料や配本所機能の充実を図るとともに、図書ボランティアとの連携、各種イベントや展示会の開催を通し、図書館への関心を高める。また、地域情報センターを改装して「図書館分館」を8月に開館し、地域の知の拠点をめざす。	A
19	学校給食	安全・安心なおいしい給食の提供と、経営の効率化、給食サービスの向上に努める。賄い材料の確保が難しくなることから給食費を改定する。	A

Ⅳ 点検･評価に関する学識経験者の意見等

平成２６年度教育委員会点検・評価報告に関する意見等

石井　憲一

はじめに

年頭における教育長の教育行政執行方針は 19 項目にわたる重点施策を示し､国が掲げる「教育委員会制度の見直し」や「大学教育のあり方」を初めとする 21 世紀の教育制度の根幹にかかわる問題提起を見つめつつ、当市の教育行政において喫緊の課題に対して真摯に向きあう姿勢を示されました。その上で 26 年度において 1 年間執行されてきた結果として、重点施策に対する委員会の点検・評価に市民の立場から意見を求められた訳ですが、この形式は 21 年度に始まり既に 6 年目を向かえ点検・評価の内容はより詳細に検討されており、全体的にはほぼ当初目的を達成されたものと思っております。

さて、重点施策では常に変わらず注視していかなければならない教育力や学力に関する課題、少子高齢化とそれに伴う地域の変化において対応すべき課題、そして児童生徒の安全な環境や心身の健全な発達を支えることの課題等が多く示されたと思います。したがって、ここでは些細な疑問点も含めて個々の点検・評価への意見を述べ、さらに全体的な所感を述べることでまとめたさせて頂きます。

１．教育委員会の活動について

年間 12 回の「定例会議」の開催日時は委員各位のスケジュールを調整されたうえでなされているものと理解しますが、できれば出欠状況も記述頂ければと感じます。議案、報告そして情報提供とあるようですが､特に 53 件の情報提供に委員の方々から多くの発言が有ったことが報告の中で示されていることは宜しいかと思います。今後も更なる意

見の開示を望みます。
　調査活動状況については定例の行事への参加以外に社会教育に係る、すなわち地域との交流に足を運ばれていることは喜ばしいことであり、むしろより多く参加されることを望みます。
２．19 項目の重点施策について
　点検・評価で着目するところは主に時間軸(経年変化)による成果の意識、「PDCA」で効果があったか、そして全市的(8 小学校と 5 中学校)に広がりを持ったかであります。
　最初の 3 項目、「確かな学力の向上」、「教職員の資質能力向上」、そして「特別支援教育」は児童・生徒への教育の本流でありよく為されていたとの評価は妥当であります。学習支援グループの新設や登別版チャレンジテストの作成などは全国学力・学習調査における結果の改善に繋がっており、また、市内障がい者団体との連携も進められている事が示されています。
　つぎに、「幼保・小・中連携教育」に関しては 25 年度に用意されていた”就学にかかわる連携”の内容の表記が分散して分かりづらいことは、本項目の主旨から見て残念であります。
　「不登校・いじめ対策」は不登校といじめ対策が一つの括りで論じられることには、多少違和感を禁じ得ません。しかしながら、直近の新聞報道によれば「不登校」に関しては北海道における小・中学校の不登校問題は改善されていないとの事でありますが、登別市においては経年的に減少傾向であることが示されており喜ばしい限りです。今後も地域の連携等含めて不断の努力を望みます。また、「いじめ認知」においての点検・評価の資料によれば 25 年度に比して大幅に減少したことが読み取れます。しかしながら、その成果に対する評価内容に理由等が十分に表現されていないことは残念です。つぎの項目、「豊かな心の育成」の成果として世代間交流が活発になされボランティアへの参加も積極的に為されたとあり、また「読書活動」においても読書習慣の醸成が示されています。このことと児童生徒の心の成長との関係がつながって行く事を望みます。
　つぎに「体力向上」と「健康教育」は児童生徒の望ましい運動習慣や健康被害の防止意識の向上を目指した項目であり、いずれも経年的な考察が示されていて評価できます。いろいろな運動機能の更なる向上、そして対症療法ではないデータに基づいたアレルギー対応の推進を図ってほしい。
　「地域とともにある学校」の項目について、”土曜授業への取組”は別項目(たとえば「児童生徒の健全育成」など)に組み込み”コミュニティスクール”についてより多くの情報があれば良かった。当市が導入したこの制度は、27 年 4 月 1 日現在の導入は全国で 235 市町村の 2300 校、北海道にあっては 9 市町村 35 校とまだまだ少ない中で近隣市町村に先駆けてしかも全市(5 中学校と 8 小学校)で進められている訳で、その道筋は注目されていると思うところで有ります。
　「安全対策」と「教育施設の整備」の項目は児童生徒を取り巻く安全な環境の構築に関わるものと理解しますが、防災の意識や通学路の交通安全教育と地域の支援は学校施設の充実にも関わることで、施設整備が進捗していることは喜ばしい。ただし、25 年度では”防災教育”と”通学路の安全確保”はそれぞれ項目化されていました。地域の方々のパトロール等実効ある対応が進んでいるかと思いますので、改めて防災と安全の意識の高揚を望みたい。
　「社会教育」、「家庭教育」、そして「児童生徒の健全育成」の 3 項目は”第 4 次社会教育中期計画”との関連項目であると思います。その位置づけで考えますと時系列的な変化傾向からの評価も重要でありますが、例えば児童生徒への街頭指導・万引補導そして不審者・変質者状況は経年的に示されているが、残念ながら他の取組では単年度の数値の

みで点検・評価になっているのが散見されます。時間軸(経年変化)による検討を望みたい。

「芸術・文化・スポーツ振興」、「図書館」の項目は26年度の進捗が良く分かります。同列の項目ではありませんが、今後とも市民生活に大いに関わるところであり、さらに良い方向に進まれることを望みたい。

新規に掲げられた項目、「学校適正配置」は当市の現状では喫緊の課題ではないように思いますが、少子高齢社会の進捗は待ったなしであり、多分"コミュニティスクール"の進展とも関わるものであると思います。地域そして市民にとってより良い基盤づくりが速やかに進められることを期待します。

19番目の項目「学校給食」の点検評価については特に問題はないものと思います。

おわりに

6年目を迎えたこの点検・評価に対して全項目において意見を述べさせて頂きましたが、感ずるところとして、重点施策の項目は毎年度においてそれぞれ軽重があろうかと思いますが、他の教育行政との関連付けによって分けて示されることが点検・評価の側面からは望まれます。

また、教育行政の多岐にわたる側面を考えますと徒に重点施策と掲げることは避けるべきであると思いますが、過年度に重点施策であって今年は項目として揚げられなかった"情報教育"、"英語(国際理解)教育"や"青少年の健全育成"等は常に注視していかなければならない課題であろうと思います。

最後に、22年度の社会教育委員会答申に対応した「第4次社会教育中期計画」は"社会教育"と"家庭教育"に密接に関わる計画として23年度から27年度までの5か年を想定期間としています。25年度には「コミュニティスクール」導入の提起が有り26年度には「地域とともにある学校」という形で重点施策に盛り込まれました。登別版「コミュニティスクール」は多くの重点施策と密接に重なり社会教育計画は教育行政の根幹にかかわるものと感じる次第で、教育委員会の点検評価にもこの計画の進捗状況への論述が望まれます。

以　上

平成２６年度　教育委員会点検・評価報告に関する意見等

小塚　順一

1　確かな学力の向上について

①　まず、「学力」をつける授業について考えてみたいと思います。学校教育の主は、「授業の充実」であります。教員が児童生徒に学習内容をどう「わからせたか」を各学校の公開授業等で議論していくことが原点になると思います。いろいろな施策よりも「学力向上」の基を考えたいです。

②　本市における様々な学習支援は、「学力向上対策会議」等で充実されていることに敬意を表しますが、それには「指導・援助」する退職校長会所属の方々をはじめ、教職経験者の努力は欠かせません。このことも重要な評価の対象だと思います。

③　家庭における「学習」についての記述では、「時間」についてが主ですが、実際にはどんな内容が望ましいのでしょう。やはり、反復練習となれば「復習」が中心でしょうか。こういうとらえ方も必要でしょう。

2　豊かな心の育成について

昨今は「道徳教育」が問題になっています。授業としての「道徳」により、「命の大切さ」や「規範意識の醸成」などの「道徳性」を育みます。その後、「道徳性の発露」として「体験活動」があると思います。そこで「道徳の授業」はどうあるべきで、その価値についてどう考えるべきかの方針を提示してほしいです。

3　健康教育について

フッ化物洗口は評価できるが、アレルギー対応については情報の共有が必要であると記述されています。そもそも「学力」も「体力」も向上させるためには、「健康教育」が大事です。ところで、例年問題になる「インフルエンザ」による学級閉鎖等はどういう実態なのでしょうか。防止等の取組も評価対象にならないのでしょうか。いずれにしても各機関・学校・行政の努力により、体力面での向上があったのは素晴らしいことだと思います。

4　地域とともにある学校について

「コミュニティスクール」の現状について、「学校運営協議会」では何を話されたか、具体的にどういう効果がありや課題は何か等も、記述してほしいです。「土曜授業」だけが中心ではないと思います。

そもそも学校は「地域」にあり、地域住民全員で児童生徒の育成に尽力しているわけで、改めて地域の人々と力を合わせて児童生徒の健全育成に臨むことは有効な手立てと考えます。

5　芸術・文化・スポーツの振興について

「文化」「スポーツ」とも振興計画が作成され、推進されていることは評価しますが、本市の特徴は何かを把握した施策をしてほしいです。「文化」関係では、近隣の室蘭市会員が重複したりして、活動の充実がいまいちであります。少子高齢化は嘆いても仕方ありませんので、伝統芸能の学校での普及等をもっと拡大し、身近なところから実施策を考えたらどうでしょうか。

6　最後に２年間意見等を述べさせていただきましたが、平成２６年度には「防災教育」と「情報教育」が大きな項目ではなくなりました。どうしてそうなったのか意図がわかりません。「防災教育」については、、学校の「危機管理」は終わったわけではありません。各学校の取組などの十分な記述が必要だと思います。また、「情報教育」につきましては、「ケータイ・スマホ安全教室」など一層必要であると思います。最近インターネット等での犯罪などが起きています。それこそ、現代のニーズにあった喫緊の課題ではないでしょうか。

以 上

Ⅴ 評価のまとめ

平成２６年度の登別市教育委員会の重点施策として点検・評価で取り上げた１９項目の評定結果は、

Ａ：達成しているもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４項目
Ｂ：おおむね達成しているもの・・・・・・・・・・・・・　５項目
Ｃ：おおむね達成しているものの一部課題があるもの・・・・　０項目
Ｄ：達成に向け困難な課題があるもの・・・・・・・・・・・　０項目

であり、教育行政執行方針に沿って適切な教育行政の執行がなされたと考えております。今後も、この点検・評価の効果を高めるために、各種基本計画の内容を再確認するとともに、目標に向かってより多くの具体的な改善策が提示されるようにしなければならないと考えております。また、ＰＤＣＡ（計画・実行・確認・改善）のマネジメントサイクルを生かしたシステムづくりに心がけ、登別市の教育行政の推進に役立ててまいります。

Ⅵ 参 考 資 料

１　平成26年度教育行政執行方針

平成２６年第１回登別市議会定例会にあたり、教育委員会所管の行政執行に関する基本方針を申し上げます。

わが国の教育は、２１世紀の新たな教育体制を構築するとして政府が設置した「教育再生実行会議」からの提言を受け、現在、具体的な政策について「中央教育審議会」で議論が進められております。この中で、特に課題としてあげられている「教育委員会制度の見直し」や「大学教育のあり方」などの改革は、教育制度の根幹に関わる問題であり、これまでにない大きな教育の転換がもたらされようとしております。教育委員会といたしましては、これらの動向をしっかりと見極めながら、新たな課題に適切に対応するとともに、未来に向かって、心豊かにたくましく生きる人間の育成を基本理念として学校・家庭・地域・関係機関と連携を図りながら、各般の教育施策に取り組んでまいります。また、市民一人一人が、生涯を通じて積極的に学び、その成果を生かすことのできる生涯学習社会の実現に努めてまいります。

以下、平成２６年度の重点項目について申し上げます。

はじめに、①確かな学力の向上についてでありますが、当市は全国学力学習状況調査において、一部の正答率が全国平均を超えるなど、学校や児童生徒の努力が着実に成果として表れております。引き続き「基礎・基本の定着」や「活用する力の育成」などをねらいとして、各学校が策定している学力向上プランに基づく取組を支援してまいります。また、学力の二極化などの課題に対応するため、学習支援専門員を配置し、基礎的な問題の開発や授業以外での子どもの学習支援など、家庭や地域と連携した学力向上の取組を進めてまいります。

②教職員の資質能力向上については、学校の研修活動の充実を図る「教育実践研究奨励校」の指定や「巡回教員活用事業」、「地域連携研修事業」の取組などにより、教職員の指導力や資質の向上を図ってまいります。また、「学校力向上総合実践事業」による包括的な学校改善の成果が市内各学校に波及できるように、その活動を支援してまいります。　また、児童生徒の教育に直接関わる教職員には、高い規範意識や倫理観が求められますので、校長会を通じ、服務規律の徹底に努めてまいります。

③特別支援教育については、幼少期からの連続した教育支援を図るため「個別の教育支援計画」の一層の活用を促すとともに、介助員の配置やトイレの改修、階段昇降機の整備など、実態に応じた支援に努めてまいります。

④幼保・小・中の連携教育については、昨年度、幼稚園教諭、保育士、小学校教諭による交流懇談会を実施し、各施設での子どもの様子や取組、進学時の引き継ぎのあり方など活発な意見交換を行い大きな成果を生み出しました。今後も、保育体験や施設の視察など、幼稚園、保育所、小・中学校間の更なる連携を図り、一貫した教育の推進に努めてまいります。

⑤不登校・いじめ等の対応については、「登別市不登校・いじめ等対策会議」を活用して、問題の未然防止や早期発見、早期対応に努めるとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー心の教室相談員を配置し、児童生徒や教師に対する適切な支援を行ってまいります。また、昨年成立した「いじめ防止対策推進法」では、「いじめ防止基本方針」の策定や「いじめ防止を実効的に行う組織」の設置などが、学校の責務とされましたので、その取組を支援してまいります。また、児童生徒が様々なネットトラブルの被害者や加害者にならないよう情報モラルやマナーの向上をめざした「ネットモラル教室」の開催を促してまいります。さらに、災害や犯罪、不審者情報を保護者やボランティアに提供する「安心メール」の普及を図り、児童生徒の安心・安全の確保に努めてまいります。

⑥豊かな心の育成については、学校や地域での様々な体験活動や道徳教育の充実を促し、命を大切にする心や思いやりの心、自律心や規範意識などの醸成に努めてまいります。

⑦読書活動については、「第二次子ども読書活動推進計画」に基づき、学校での朝読書活動や図書ボランティアによる読み聞かせなどの取組を促すとともに、司書有資格者を小学校図書館へ配置するなど図書館機能の拡充を図ってまいります。

⑧体力向上については、学校における継続的な体力向上の取組や道教委の体力向上運動への参加を促すとともに、総合型地域スポーツクラブ「おにスポ」による体育コーディネーターの活用などを通して児童生徒の体力向上と望ましい運動習慣の確立に努めてまいります。

⑨健康教育については、引き続き、食に関する指導や歯の健康づくり、薬物乱用防止教室の開催を促すなど、児童生徒が自らの健康を守る態度を身に付けるよう支援してまいります。また、近年、アレルギー体質の児童生徒が増加しておりますので、教職員が状況に応じて適切に対応できるよう各種研修会や講習会への参加を促してまいります。

⑩地域や家庭と一体となって子どもたちを育んでいくコミュニティスクールについては、本年度より準備が整った学校から運営協議会を設置し、具体的活動を進めていくことになりますので、その活動が円滑に推進されるよう支援してまいります。また、土曜日の教育活動の充実を図るため、道教委が指定する「土曜授業推進事業」を全小・中学校で取り組むことといたします。

⑪安全対策については、学校安全計画に基づき、各学校が実施する各種研修会や安全教室、地震や津波などを想定した避難訓練などを支援し、児童生徒の「安全意識」や「知識・理解の向上」、「自ら適切な行動がとれる能力」等の育成に努めてまいります。また、通学路の安全については、地域の皆さんのご協力を得て登下校の見守り活動を推進するとともに、道路管理者など関係機関で構成する「登別市通学路安全推進協議会」を立ち上げ、危険箇所の点検、改善を図る「進行プログラム」を策定してまいります。

⑫教育施設の整備については、鷲別小学校体育館の改築工事に着手するとともに、鷲別中学校校舎の耐震化工事、緑陽中学校体育館の暖房工事を進めてまいります。また、耐震診断の完了をめざし、幌別中学校と幌別東小学校、幌別西小学校の耐震診断を実施します。このほか、中学校トイレの洋式化や市民会館の玄関スロープの改修、岡志別の森運動公園の休憩所の設置などに取り組んでまいります。

⑬学校の適正配置については、検討委員会からの様々なご意見をいただき「登別市学校適正配置基本方針」を策定しましたので、今後は、この方針に基づき児童生徒数の変化や学校規模の動向、地域の状況など総合的な観点から検討を進め、児童生徒にとって良好な教育環境が維持されるよう努めてまいります。

次に、⑭社会教育については、「第四次社会教育中期計画」に基づき、各種社会教育施設や人材など地域にある学習資源を生かしながら、多様な学習機会の充実とまちづくりや子育て支援など地域を支える人材の育成に努めてまいります。

家族のふれあいを目的に、昨年取り組んだ「家族の時間づくりプロジェクト」は、市内のスポーツ・文化・観光施設の利用を通して、親子の会話やスキンシップが深められたと認識しておりますので、課題を検証し、さらに充実した事業となるよう図ってまいります。また家庭教育学級は、引き続き、市内各小学校に開設し、子育て支援や⑮家庭教育に関する情報提供、学習機会の充実に努めてまいります。

⑯児童生徒の健全育成については、青少年センターを中心に、登別市子ども会育成連絡協議会や関係団体、地域の方々のご協力をいただき、街頭指導の強化や環境の浄化、通学路の安全対策などに取組、良好な環境の確保と非行防止活動に努めてまいります。

⑰芸術・文化、スポーツの振興については、「登別市文化・スポーツ振興財団」や関係団体と連携し市民の文化活動への参加促進と芸術鑑賞機会の提供、各種スポーツ教室やスポーツ推進委員による指導者派遣事業の取組を推進してまいります。また、「こいのぼりマラソン」は、実行委員会において、市民の幅広い参加をめざし、リニューアルすることとしておりますので、市教委としては市民の健康増進やスポーツ振興など、地域の活性化にも資すると考え、運営支援をすることといたします。また、平成２７年度からスタートする「文化振興基本計画」「スポーツ振興基本計画」については、豊かな地域社会の創出をめざし市民の皆さんや関係団体のご意見をいただきながら策定してまいります。

⑱図書館については、図書資料や配本所機能の充実を図るとともに、図書館ボランティアとの連携を図り、各種イベントや展示会を開催し、図書館への関心を高めてまいります。また、地域情報センターを改装して「図書館分館」とする整備案がまとまりましたので、今後は８月のオープンをめざし、地域の新たな知の拠点となるよう準備を進めてまいります。

⑲給食については、安全で安心なおいしい給食の提供に努めてまいりましたが、近年の食材の高騰や消費税の引き上げの影響を受け、賄い材料の確保が難しくなることから、給食費を改定することといたします。

今後とも経営の効率化と給食サービスの向上に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。以上、平成２６年度の教育行政に関する主要な方針について申し上げました。

教育に関する具体的な計画とその点検・評価の流れ

全体目標

登別市民憲章

登別市総合計画

登別市生涯学習基本構想

登別市教育目標

具体的な計画

学校教育基本計画（H21～H30）

重点１ 子どもたちの「生きる力」の育成

1，確かな学力向上
- ①基礎・基本の定着
- ②思考力、判断力、表現力等の育成
- ③学び続ける意欲の醸成

2，豊かな人間性の育成
- ①豊かな心を育む教育の充実
- ②生徒指導、不登校対策等の充実
- ③教育相談の充実

3，たくましく生きるための健康や体力づくり
- ①健康や体力づくりの推進
- ②食育の推進
- ③地域との連携
- ④指導者、指導技術の充実

重点２ 地域に根ざした魅力ある学校づくり

1，特色ある教育活動の推進
- ①時代の変化に伴う教育課題への対応
- ②総合的な学習の時間の充実
- ③体験学習の充実
- ④情報機器の効果的な活用

2，開かれた学校づくりの推進
- ①学校公開や地域交流推進
- ②家庭・地域との連携推進
- ③地域の教育力の活用
- ④学校評議員・学校評価の活用推進

3，教育環境の充実
- ①児童生徒の安全確保
- ②安全で衛生的な教育環境の充実
- ③特別支援教育の体制づくり
- ④教職員の資質能力の向上

第４次社会教育中期計画（H23～H27）

１ 人づくり

(1)青少年教育
次代を切り開くたくましさと豊かな心をもつ青少年を育成するための各種体験活動の充実、環境の整備

(2)成人教育
市民の主体的な学習の推進
＜市民が主体となった社会教育を目指して＞

(3)高齢者教育
高齢者のニーズに応じた多様な学習機会の充実

(4)全世代教育
異世代間交流の充実

２ 家庭教育
家庭の教育力向上のための学習支援の教化、充実

３ 条件整備
いつでも、どこでも、誰もが学べる学習環境の整備

４ 文化活動
文化の保護・継承と文化活動や文化を育む環境づくりの推進を図る

文化振興基本計画（H17～H26）

５ 健康づくり・スポーツ
生涯スポーツの推進を図る

スポーツ振興基本計画（H17～H26）

点検・評価

教育員会点検・評価

- 教育行政執行方針の自己評価
- 教育委員会活動報告
- 学識経験者による評価・意見

事務事業評価

- 予算を伴う事業の評価
- 担当による自己評価

各種基本計画の進捗状況

- 学校教育基本計画
- 第４次社会教育中期計画
- 文化振興基本計画
- スポーツ振興基本計画

平成26年度　各種基本計画の進捗状況
学校教育基本計画

○＝前年度より改善　　△＝前年度より課題

重点1　子どもたちの「生きる力」の育成

	主要な施策	推進項目	平成26年度 進捗状況 進展	維持	遅延	教育総務・小・中学校費 主な事業等	執行方針重点番号	平成25年度 進捗状況 進展	維持	遅延	執行重点
1 確かな学力の向上	①基礎・基本の定着	学力向上プランの活用		○		・登別市学力向上プラン	1	○			3
		基礎・基本の徹底	○			・学習支援専門員による取組	1	○			3
		指導方法工夫改善		○		・指導方法工夫改善事業 ・巡回教員活用事業	2	○			3
		学校支援ボランティアの活用	○			・CS活動支援事業（放課後学習）	1・10		○		
		家庭学習の充実		○		・教育課程課題検討委員会	1		○		3
	②思考力、判断力、表現力等の育成	校内研修の充実	○			・教育実践研究奨励事業 ・学校力向上に関する実践事業	2	○			1
		公開研究会の開催	○			・教育実践研究奨励事業	2	○			1
		研修講座等への参加促進	○			・白老との地域連携研修事業	2	○			1
		教科との関連を図った「総合的な学習の時間」の充実		○		・特色ある学校づくり推進経費			○		
		個に応じた指導の充実	○			・教育実践研究奨励事業 ・学校力向上に関する実践事業	2	○			3
	③学び続ける意欲の醸成	学習評価の充実		○					○		
		授業の充実	○			・教育実践研究奨励事業 ・学校力向上に関する実践事業	2	○			1
		生活習慣・学習習慣の形成		○		・教育課程課題検討委員会	1		○		3
		創意工夫を生かした教育課程の編成	○			・特色ある学校づくり推進経費 ・CS活動支援事業（土曜授業）	10	○			
2 豊かな人間性の育成	①豊かな心を育む教育の充実	自然体験活動の充実	○			・特色ある学校づくり推進経費 ・自然体験学習推進経費	6	○			7
		社会体験活動の充実	○			・特色ある学校づくり推進経費	6		○		7
		道徳教育の充実		○		・道徳の授業改善事業	6		○		7
		地域の人材活用	○			・CS活動支援事業	10	○			
		読書活動の推進	◎			・図書館運営管理費 ・学校図書館司書配置事業費	7・18	○			10
	②生徒指導、不登校対策等の充実	生徒指導の校内体制の充実	○			・いじめ防止を実効的に行う組織策定	5	○			6
		情報連携・行動連携の充実	○			・青少年育成指導経費	5	○			6
		不登校・いじめ等対策	○			・不登校・いじめ等対策経費	5	○			6
		適応指導教室等の充実		△			5		○		6
		関係機関との連携	○			・不登校・いじめ等対策会議	5		○		6
	③教育相談の充実	スクールカウンセラーの活用	○			・スクールカウンセラー活動経費	5	○			6
		心の教室相談員の活用		○		・心の教室相談員活動経費	5		○		6
		電話・メール・訪問相談の充実		○			5		○		6
		「いじめ問題」への適切な対応	○			・不登校・いじめ等対策経費	5	○			6
		地域、関係部局、関係機関との連携促進	○			・スクールソーシャルワーカー活用事業	5	○			6
3 たくましく生きるための健康や体力づくり	①健康や体力づくりの推進	「体力」についての実態把握	○			・全国体力・運動能力、運動習慣等調査	8	○			8
		体育の授業の充実	○			・おにスポコーディネーターの活用	8		○		8
		体力の向上を目指した特色ある教育活動の促進		○		・スキー授業等推進事業 ・特別活動推進経費	8		○		8
		薬物乱用防止教育の推進		○		・外部講師の活用	9	○			
		性に関する指導の推進		△			9		○		
		体育施設設備の整備・充実	○			・鷲別小体育館立替事業 ・緑陽中体育館暖房改修	12	○			14
		中学校運動部活動の充実		○		・中学校体育連盟助成金	8		○		
	②食育の推進	食に関する指導 「全体計画」の作成		○		・栄養教諭派遣事業	9		○		
		食の通信「すくすく」の発行		○		・栄養教諭派遣事業	9		○		
		栄養教諭による指導	○			・栄養教諭派遣事業	9	○			
		望ましい食習慣の啓発	○			・栄養教諭派遣事業	9	○			
	③地域との連携	放課後子どもプランの実践	○			・放課後子ども教室推進事業費	10	○			
		学校支援ボランティアによる支援	○			・学校支援地域本部事業費	10		○		
	④指導者、指導技術の充実	講習会、各種研修会の参加促進		○		・新体力テスト指導改善エキスパート養成講座	2		○		
		地域人材の活用		○		・CS活動支援事業		○			

重点２　地域に根ざした魅力ある学校づくり

	主要な施策	推進項目	平成26年度 進捗状況 進展	維持	遅延	教育総務・小・中学校費 主な事業等	執行方針重点番号	平成25年度 進捗状況 進展	維持	遅延	執行重点
１　特色ある教育活動の推進	①時代の変化に伴う教育課題への対応	国際理解教育の推進		○				○			
		伝統文化に触れる機会の提供		○		・学校支援本部事業	14		○		2
		食育の推進	○			・栄養教諭派遣事業	9	○			
		環境教育の推進		○		・特色ある学校づくり推進経費 ・自然体験学習推進経費	6		○		
		人権教育の推進	○			・人権教室の開催	6	○			
		英語教育の推進・小学校外国語活動の推進	○			・外国青年招致経費			○		
		安全教育の推進	○			・市通学路安全推進協議会 ・地震や津波を想定した避難訓練	11	○			
		読書活動の推進	○			・学校図書館司書配置事業費	7	○			10
	②総合的な学習の時間の充実	全体計画・指導計画の充実		○					○		
		地域の人材・環境の活用	○			・CS活動支援事業	10		○		
		特色ある活動の継承		○		・特色ある学校づくり推進経費		○			2
		キャリア教育		○				○			
	③体験活動の充実	自然体験・社会体験学習の充実	○			・特色ある学校づくり推進経費 ・自然体験学習推進経費	6	○			7
		異学年交流の促進		○		・中学生の保育体験、職業体験	4		○		
		子ども共同生活体験の推進	○			・通学合宿　みんなで学ぶ「子ども村」	14	○			9
	④情報機器の効果的な活用	情報教育の推進	○			・小中学校情報教育推進事業	11	○			
		授業での活用促進	○						○		
		教員用コンピュータの効果的な活用		○				○			
		登別市情報教育推進協議会との連携		○		・情報教育システム広域化事業			○		13
２　開かれた学校づくりの推進	①学校公開や地域交流の推進	学校からの情報発信		○				○			13
		学校公開の促進	○			・CS活動支援事業（土曜授業）	10	○			
		学校支援ボランティアの活用	○			・CS活動支援事業	10	○			
		地域活動との連携	○			・CS活動支援事業	10		○		
		小中学校の連携の促進		○		・幼保小中連携協議会	4		○		5
	②家庭・地域との連携促進	家庭教育の充実	○			・家族の時間づくりプロジェクト	15	○			17
		地域教育の充実	○			・市民生涯学習推進講座経費	14	○			
		学校支援ボランティアの体制整備	◎			・子ども地域交流プラザ事業補助金 ・学校支援地域本部事業費	10	○			
	③地域の教育力の活用	学校支援ボランティアの活用	◎			・学校支援地域本部事業費	10	○			
	④学校評議員・学校評価の活用促進	学校評議員制度		○					○		15
		学校評価の促進		○					○		
		学校評価の活用		○					○		
３　教育環境の充実	①児童生徒の安全確保	施設設備の保守点検、改修	○			・緑陽中体育館暖房改修他	12	○			13
		学校施設の耐震化	○			・耐震診断、鷲別小体育館耐震化	12	○			14
	②安全で衛生的な教育環境の充実	危機管理マニュアルの点検	○					○			
		不審者対策等、登下校の安全確保	○			・青少年育成指導経費	16	○			13
		学校環境検査の実施	○					○			
	③特別支援教育の体制づくり	児童生徒の実態把握	○			・特別支援教育推進経費	3	○			4
		推進のための校内体制の整備		○			3		○		
		コーディネーター等研修会の開催	○			・実技に重点を置いた研修会開催	3	○			4
		支援員（介助員、学習支援補助員）	○				3	○			4
		登別市特別支援教育推進協議会		○		・特別支援教育振興費	3		○		4
		部局・関係団体等との連携促進	○			・言語障害通級教室運営経費	3	○			4
	④教職員の資質能力の向上	校内研修の充実	○			・教育実践研究奨励事業 ・学校力向上に関する実践事業	2	○			1
		研修事業への派遣促進	○			・白老との地域連携研修事業	2		○		1
		学校職員評価の実施		○					○		
		教員研修会等の開催	○			・教育実践研究奨励事業	2	○			1
		登別市教育研究会との連携		○		・教育研究会運営事業補助金	2		○		1
		胆振教育研究所との連携	○				2	○			1

第４次社会教育中期計画（H23～H27）

	主要な施策	推進項目	平成26年度 進捗状況 進展	維持	遅延	教育総務・小・中学校費 主な事業等	執行方針重点番号	平成25年度 進捗状況 進展	維持	遅延	執行重点
1	人づくり	(1)青少年 次代を切り開くたくましさと豊かな心をもつ青少年を育成するため各種体験活動の充実、環境の整備	○			・姉妹都市小中学校交流事業補助金 ・少年の主張大会経費 ・子ども会活動振興助成金 ・学校支援地域本部事業費	14	○			16
		(2)成人 市民の主体的な学習の推進＜市民が主役となった社会教育を目指して＞	○			・市民生涯学習推進講座経費 ・三市合同女性国内派遣研修経費 ・成人祭経費	14	○			16
		(3)高齢者 高齢者のニーズに応じた多様な学習機会の充実	○			・市民生涯学習推進講座経費	14	○			16
		(4)全世代 異世代間交流の充実		○		・市民生涯学習推進講座経費	14		○		16
2	家庭教育	家庭の教育力向上のための学習支援の強化、充実	○			・放課後子ども教室推進事業費 ・PTA連合会助成金	10・15	○			
3	条件整備	いつでも、どこでも、誰もが学べる学習環境の整備・充実		○		・教育施設運営管理委託料 ・社会教育業務推進事業費			○		
4	文化活動	文化振興基本計画の推進	○			・文化振興助成金	17	○			18
5	健康づくり・スポーツ	スポーツ振興基本計画の推進	○			・体育協会助成金 ・生涯スポーツ振興及びスポーツ関連団体の育成経費	17	○			18

文化振興基本計画

	主要な施策	推進項目	平成26年度 進捗状況 進展	維持	遅延	教育総務・小・中学校費 主の事業等	執行方針重点番号	平成25年度 進捗状況 進展	維持	遅延	執行重点
1	市民文化活動の活性化	・自主的、個性的な文化活動 ・文化情報の収集、周知、参加の促進 ・芸術文化の鑑賞機会の提供 ・文化活動施設の整備	○			・婦人研修の家維持管理経費 ・公民館運営管理費 ・ネイチャーセンター運営管理経費	17	○			18
2	文化活動を担う人づくり	・文化活動の広がり ・青少年の健全育成 ・自主的な文化活動の育成 ・人材育成と発掘	○			・三市合同文化事業負担金 ・図書館運営管理事業	17	○			19
3	歴史の伝承と活用	・郷土への愛着 ・埋蔵文化財の保護と活用 ・民俗芸能の継承 ・温泉の歴史の活用、発信	○			・文化伝承館運営管理費 ・のぼりべつ文化交流館運営管理費 ・郷土資料館運営管理費	17	○			18
4	アイヌ文化の振興	・市民一人ひとりの共有財産として、歴史的な遺産にとどめることなく、将来に向かって振興を図る		○		・文化財保護経費			○		

スポーツ振興基本計画

	主要な施策	推進項目	平成26年度 進捗状況 進展	維持	遅延	教育総務・小・中学校費 主な事業等	執行方針重点番号	平成25年度 進捗状況 進展	維持	遅延	執行重点
1	スポーツレクリエーション活動の推進	・余暇の充実 ・参加するスポーツへの転換	○			・姉妹都市スポーツ交流事業助成金 ・スポーツ推進委員会経費 ・文化・スポーツ振興財団事業補助金	17	○			18
2	健康・体力づくり	・高齢化社会を健やかに ・医療費の縮減につなげる		○					○		
3	競技スポーツの推進	・青少年の健全育成 ・全国・全道レベルの達成	○			・市町スポーツ交流会事業費 ・児童生徒スポーツ振興助成金 ・登別市スポーツ少年団育成助成金		○			
4	学校におけるスポーツ活動の推進	・体育指導の充実 ・運動・スポーツに親しむ ・資質・能力の育成		○		・市民プールバスパック業務委託費			○		
5	施設整備の推進	・施設の積極的開放 ・協力し合い利用 ・スポーツ施設情報	○			・青少年会館運営管理費 ・市民プール運営管理経費 ・総合体育館整備事業 ・学校開放事業	17	○			18